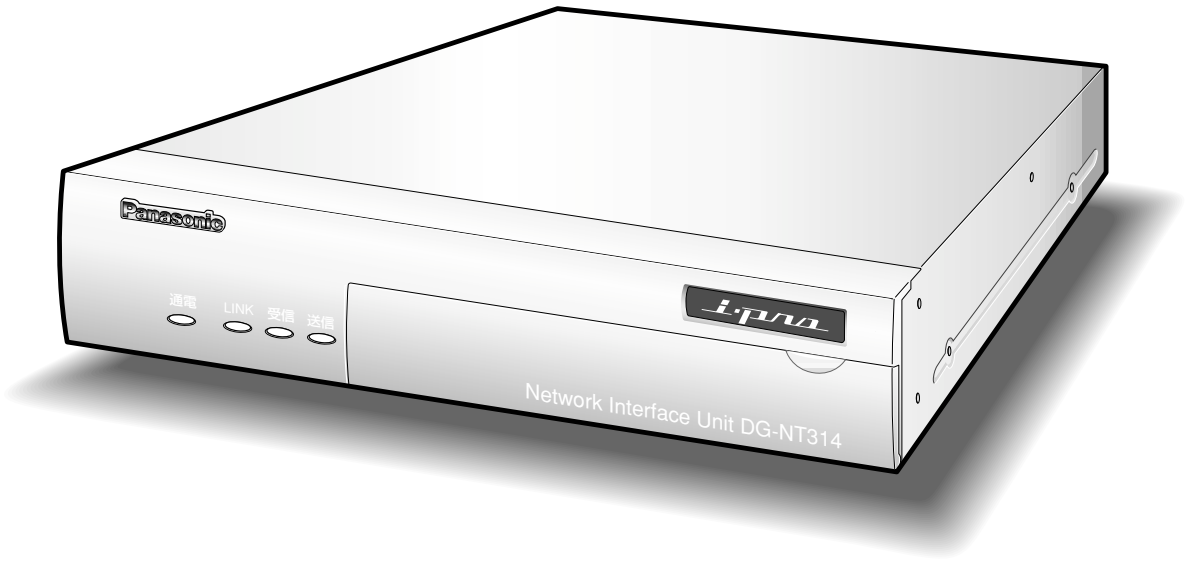
Panasonic

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークインターフェースユニット

品番 DG-NT314



はじめに

取扱説明書について

DG-NT314（以下、本機）の取扱説明書は、本書（PDFファイル）と基本編の2部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機を操作する方法と、PCから本機を設定する方法について説明しています。
本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書　基本編をお読みください。
PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer, ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

表示用プラグインソフトウェアについて

- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされていないPCでは、画像が表示されません。表示用プラグインソフトウェアは、付属のCD-ROMからインストールしてください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

はじめに

取扱説明書について 2
商標および登録商標について 2
表示用プラグインソフトウェアについて 2

操作

PCから画像を見る 5
1台のカメラの画像を見る 5
ライブ画ページについて 6
複数台のカメラの画像を見る 9
アラーム発生時の動作について 10
画像認識機能について 11
AVMD検知時のライブ画ページについて 12
FTPサーバーに画像を送信する 13
アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信） 13
指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信） 13
定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する 13
SDメモリーカードに画像を保存する 13
SDメモリーカードから画像を取得する 14
本機のネットワークセキュリティについて 15
本機に装備されているセキュリティ機能 15

設定

PCから設定メニューを表示して設定する 16
表示のしかた 16
操作のしかた 16
設定メニューの画面について 17
本機の基本設定を行う［基本設定］ 18
基本設定を行う［基本］ 18
NTPサーバーに関する設定を行う［NTP］ 19
SDメモリーカードに関する設定を行う［SDメモリーカード］ 20
RS-485ポートに関する設定を行う［RS485設定］ 22
画像・音声に関する設定を行う［カメラ設定］ 23
JPEG／MPEG-4画像に関する設定を行う［JPEG/MPEG-4］ 23
カメラに関する設定を行う［カメラ］ 27

音声に関する設定を行う［音声］ 28
同軸通信に関する設定を行う［同軸設定］ 29
マルチスクリーンの設定を行う［マルチスクリーン設定］ .30
AVMDの設定を行う［画像認識設定］ 31
検知条件を設定する［AVMD］ 31
奥行きを設定する 33
AVMDスケジュールを設定する［スケジュール］ 35
アラームの設定を行う［アラーム設定］ 37
アラーム動作に関する設定を行う［アラーム］ 37
アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］....39
アラーム出力端子に関する設定を行う［アラーム］ 40
メール通知に関する設定を行う［通知］ 41
独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］ 42
XML通知に関する設定を行う［XML通知］ 43
ユーザー管理を行う［ユーザー管理］ 44
ユーザー認証に関する設定を行う［ユーザー認証］ 44
ホスト認証に関する設定を行う［ホスト認証］ 45
システムに関する設定を行う［システム］ 46
サーバーの設定を行う［サーバー設定］ 47
メールサーバーに関する設定を行う［メール］ 47
FTPサーバーに関する設定を行う［FTP］ 48
ネットワークの設定を行う［ネットワーク設定］ 49
ネットワークに関する設定を行う［ネットワーク］ 49
DDNSに関する設定を行う［DDNS］ 52
SNMPに関する設定を行う［SNMP］ 53
FTP定期送信に関する設定を行う［FTP定期］ 54
FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］ 55
本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］ 56
システムログを確認する［システムログ］ 56
ファームウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］ 57
本機を初期化・再起動する［初期化］ 58

その他

システムログ表示について....59
故障かな!?....63
用語集....72

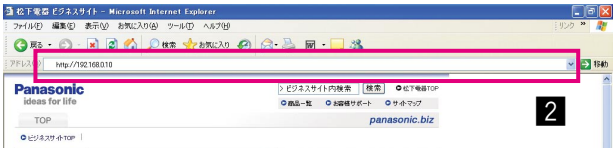
PCから画像を見る

ここでは、PCから本機の画像を見る方法を説明します。

1台のカメラの画像を見る

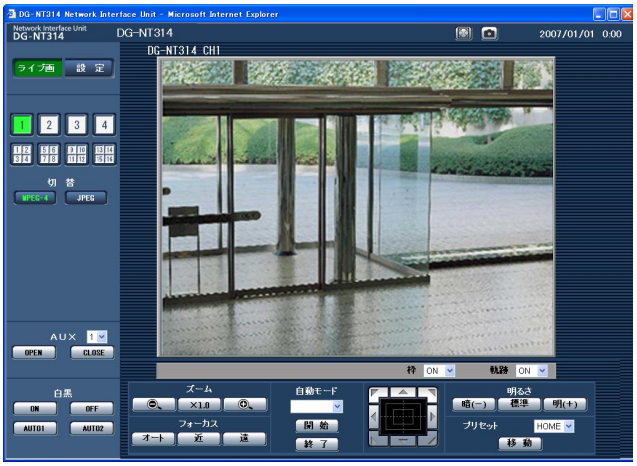
1 PCのウェブブラウザーを起動します。

2 IP簡単設定ソフトで設定したIPアドレスをウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。
（例：http://192.168.0.10）



!!重要!!
- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないようにウェブブラウザーを設定してください。

3 ［Enter］キーを押します。
→ライブ画ページが表示されます。



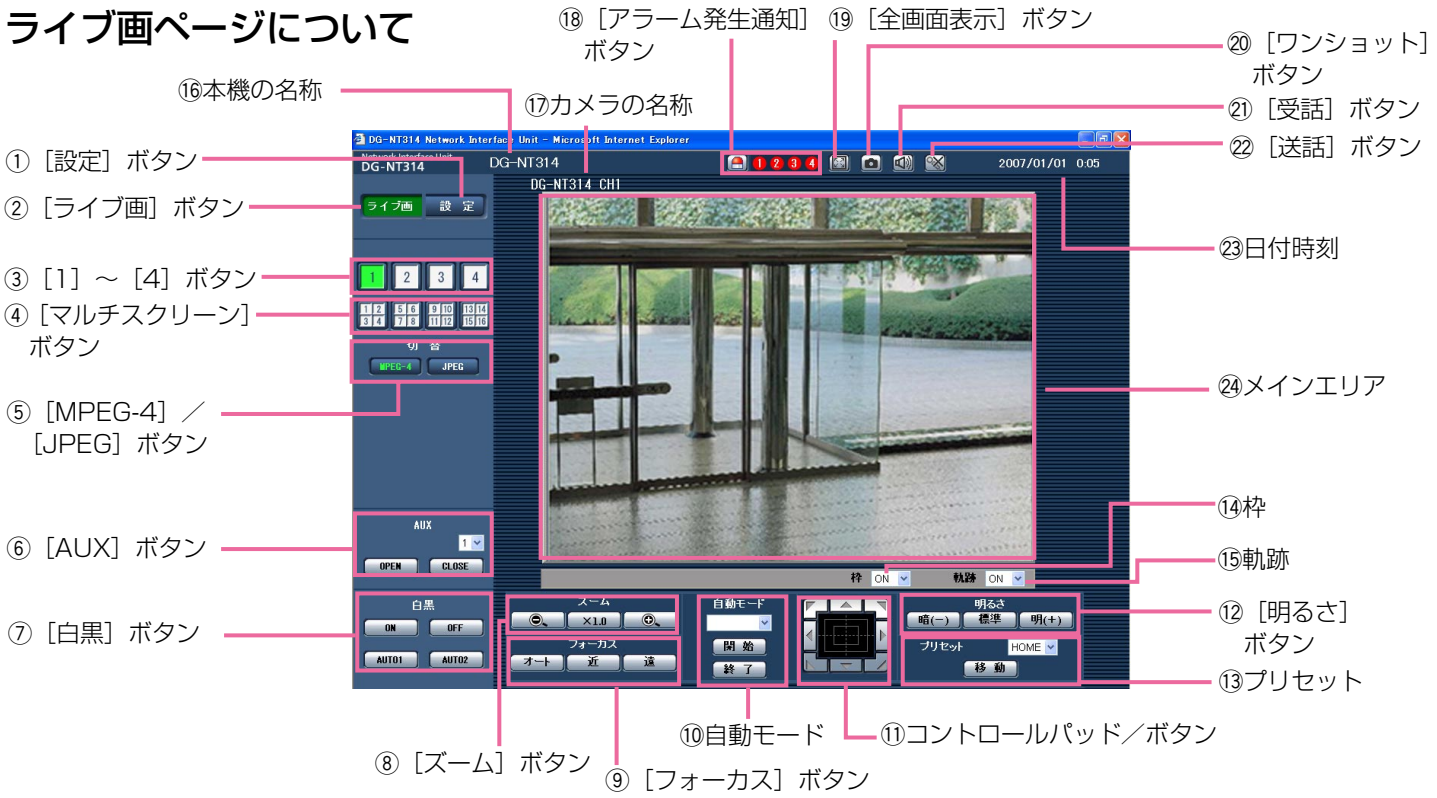
!!重要!!
- 情報バーにメッセージが表示される場合は、70ページをお読みください。

✎メモ✎
- ユーザー認証を「ON」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。お買い上げ時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  お買い上げ時の設定のままアクセスすると、パスワードの変更を推奨するポップアップウィンドウが表示されます。
  セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してご使用ください。
  （☞44ページ）
- 「配信方式」を「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」、「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」に設定（☞25ページ）したとき、本機へ同時にアクセスできるユーザーは各CHで最大8人まで、全CHで16人までです。ただし、「合計ビットレート」、「1クライアントあたりのビットレート」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。
- 「MPEG-4配信」を「ON」に設定（☞24ページ）するとMPEG-4画像が表示され、「OFF」に設定するとJPEG画像が表示されます。「ON」に設定した場合でも、JPEG画像の表示が可能ですが、画像更新速度が約半分に制限されます。
  ＜画像更新速度＞
  ・「MPEG-4配信」が「ON」のとき
  JPEG（VGA）の場合　：15 fps
  JPEG（QVGA）の場合　：60 fps
  上記は全CH合計の上限値です。画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

!!重要!!
- 1台のPCで複数のMPEG-4画像を表示した場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

ライブ画ページについて詳しくは、次ページをお読みください。

ライブ画ページについて



① 設 定 **［設定］ボタン※1**

ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

② ライブ画 **［ライブ画］ボタン**

ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。

③ 1 2 3 4 **［1］～［4］ボタン**

ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。［1］～［4］ボタンをクリックすると、CHを切り換えることができます。

④ **［マルチスクリーン］ボタン**

設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。(☞9ページ)

⑤ **［MPEG-4］／［JPEG］ボタン**

MPEG-4 ：「MPEG-4」の文字が緑色に変わり、MPEG-4画像が表示されます。設定メニューで「MPEG-4配信」が「OFF」に設定されている場合は、［MPEG-4］ボタンは表示されません。(☞24ページ)

JPEG ：「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑥ **［AUX］ボタン※2**

プルダウンから1（AUX1）～3（AUX3）を選択してOPEN／CLOSEボタンをクリックします（ボタン名は設定メニューで変更できます（☞40ページ））。
AUX1とAUX2はカメラ側のAUX出力です。
AUX3は本機の外部制御1端子からのAUX出力です。

OPEN ：AUX端子がOPEN状態になります。

CLOSE ：AUX端子がCLOSE状態になります。

⑦ **［白黒］ボタン※2**

カメラの画像をカラーまたは白黒に切り換えます。

ON ：カメラ画像を白黒に切り換えます。

OFF ：カメラ画像をカラーに切り換えます。

AUTO1 ：カメラ画像をAUTO1モードに切り換えます。 AUTOが１つのカメラに対しては「AUTO1」を選択してください。

AUTO2 ：カメラ画像をAUTO2モードに切り換えます。

⑧ **［ズーム］ボタン※2**

：ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。

×1.0 ：ズーム（倍率）を1.0倍にします。

：ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。

⑨ **［フォーカス］ボタン※2**

オート ：自動的にフォーカス（焦点）を調節します。

近 ：フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。

遠 ：フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。

⑩ **自動モード※2**

プルダウンメニューから動作を選択し、［開始］ボタンをクリックすると選択した動作を開始します。
［終了］ボタンをクリックすると動作が終了します。
また、パン、チルト、ズーム、フォーカスの操作を行った場合も終了します。

オートパン：あらかじめ設定したパンのスタート位置とエンド位置の範囲を自動的に旋回します。
ズーム、フォーカス操作を行っても、旋回操作は継続します。

ソート：あらかじめ登録してあるプリセットポジションを、カメラの原点位置から左回りに移動します。

シーケンス：あらかじめ登録してあるプリセットポジションを、プリセット番号の小さいほうから順番に移動します。

パトロール：あらかじめ設定したパトロール動作を実行します。

自動追従：カメラが自動追従（AUTO TRACK）に対応している場合、自動追従を行います。

✎**メモ**✎

- 「オートパン」、「ソート」、「シーケンス」、「パトロール」の各設定は、カメラのセットアップメニューで行います。（☞27ページ）
- カメラが自動追従に対応しているかどうかは、カメラの取扱説明書をお読みください。

---

⑪ **コントロールパッド／ボタン※2**

：画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）はパッドおよびボタンを左クリックして行います。
パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。
また、マウスをドラッグして調節することもできます。
ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。
左右方向で左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。

⑫ **［明るさ］ボタン※2**

暗(−) ：画像が暗くなります。

標準 ：お買い上げ時の明るさに戻ります。

明(+) ：画像が明るくなります。

✎**メモ**✎

- カメラがプリセットポジションにある場合に［明るさ］ボタンを操作すると、そのプリセットポジションの明るさとして自動的に登録されます。

---

⑬ **プリセット※2**

プルダウンメニューからプリセットポジションを選択し、［移動］ボタンをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。「HOME」を選択すると、カメラの向きをホームポジションに移動できます。
プリセットポジションおよびホームポジションの登録は、カメラのセットアップメニューで行います。
（☞27ページ）

⑭ **枠**

人物を検出したときの枠の表示／非表示を切り換えます。詳しくは、12ページをお読みください。

⑮ **軌跡**

検出した人物が動いた軌跡の表示／非表示を切り換えます。詳しくは、12ページをお読みください。

⑯ **本機の名称**

設定メニューの［基本］タブの「本機の名称」で設定した名称が表示されます。（☞18ページ）

⑰ **カメラの名称**

設定メニューの［基本］タブの「カメラタイトル」で設定した名称が表示されます。（☞18ページ）

⑱

［アラーム発生通知］ボタン※2

アラームが発生すると、このボタンが点滅表示され、アラームが発生しているCH（①～④）が点灯します。
ボタンをクリックすると表示が消え、全アラーム出力端子がリセットされます。（☞40ページ）

（次ページへ続く）

⑲ **［全画面表示］ボタン**
画像を全画面で表示できます。ライブ画ページに戻るときは、右クリックして「BACK」を選択するか、PCのキーボードの［Esc］キーを押してください。

⑳ **［ワンショット］ボタン**
ワンショット（静止画1枚）が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックし、「save」を選択すると、PCに画像を保存することができ、「print」を選択すると、プリンターから画像を印刷することができます。［閉じる］ボタンをクリックすると、ウインドウが閉じます。

㉑ **［受話］ボタン※3**
受話音声（PCで聞く）のON／OFFを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「受話」または「双方向」に設定している場合にのみ表示されます。（☞28ページ）
ボタンをクリックすると、表示が に切り換わり、本機からの音声が聞こえなくなります。

✐**メモ**✐
- ［受話］ボタンをOFFにすると、PC全体の音声がOFFになります。ウェブブラウザーを閉じるときは、［受話］ボタンをONにしてください。
- 受話はCH1でのみ有効になります。

㉒ **［送話］ボタン※3**
送話音声（PCから話す）のON/OFFを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「送話」または「双方向」に設定している場合にのみ表示されます。（☞28ページ）
送話中は点滅表示されます。
ボタンをクリックすると、表示が に切り換わり、PCからの音声が聞こえなくなります。

✐**メモ**✐
- 1人のユーザーが送話中の間は、他のユーザーの受話は停止状態になり、［受話］ボタン、［送話］ボタンの操作ができなくなります。
- 1回の送話時間は最大で5分間です。5分経過すると、受話状態に戻ります。再度、送話を行う場合は、［送話］ボタンをクリックしてください。
- 送話はCH1でのみ有効になります。

㉓ **日付時刻**
設定した時刻表示形式と日付表示形式（☞18ページ）に従って、現在の日付時刻が表示されます。

㉔ **メインエリア※2**
カメラの画像とカメラタイトルが表示されます。
ライブ画ページのメインエリア内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心とする方向にカメラの向きが移動します。

✐**メモ**✐
- 対応機種は以下のとおりです。
  WV-CS950、WV-CW960、WV-CW970
  （2007年8月現在）
  この機能を使用する場合は、カメラの「PROPO.P/T」設定を「ON」にしてください。（☞27ページ）

※1　アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーおよびホストのみ操作できます。
※2　「ユーザー認証」および「ホスト認証」が「ON」に設定（☞43、44ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーおよびホストのみ操作できます。
※3　「音声許可レベル」で設定したレベルのユーザーおよびホストのみ操作できます。（☞29ページ）
アクセスレベルについて詳しくは、44ページをお読みください。

!!重要!!
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされていないPCでは、画像表示や音声の受話／送話を行うことができません。インストールのしかたについては「取扱説明書　基本編」をお読みください。

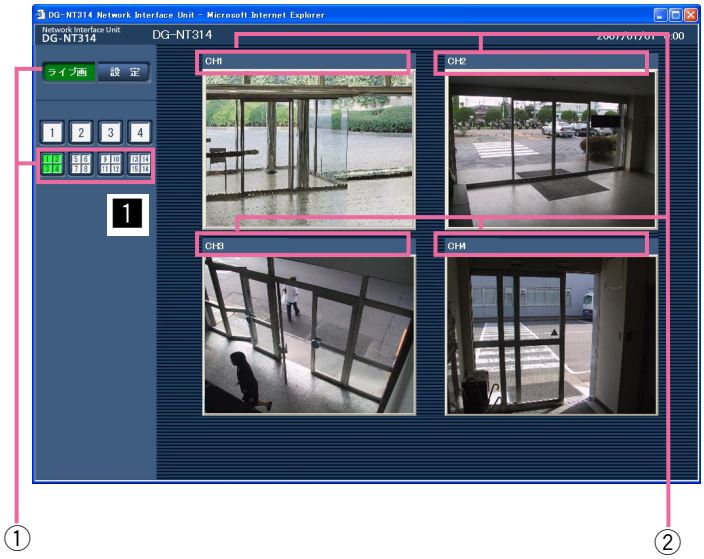
複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台までのカメラの画像を確認できます。カメラの画像を確認するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。カメラ4台を1つのグループとして設定し、合計16台（4グループ）まで設定できます。（☞30ページ）

!!重要!!

- マルチスクリーンに設定するネットワーク機器は、ユーザー認証およびホスト認証を「OFF」に設定してください。
- マルチスクリーンで確認できる画像はJPEGのみです。音声は出力されません。
- マルチスクリーンは本機側で制御している機能です。本機の電源を切った場合や本機のネットワークケーブルを抜いた場合は、マルチスクリーンを表示することはできません。

1 ［マルチスクリーン］ボタンをクリックします。
→カメラの画像が4画面で表示されます。



①1画面表示にしたい場合は、［ライブ画］ボタンまたは［1］～［4］ボタンをクリックします。

②カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画ページが別ウインドウで表示されます。

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作を行います。

アラームの種類について

- ●端子アラーム　：後面のアラーム入力端子No.1～No.4にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。端子アラームの設定によってアラーム動作が異なります。（☞37ページ）
- ●カメラサイトアラーム　：カメラ入力端子に接続されたカメラが、端子入力やモーションディテクターなどによってアラームを検出し、本機側でカメラからのアラーム信号を受信したとき、アラーム動作を行います。（☞38ページ）
- ●ビデオロス　：同軸ケーブルの断線やカメラの故障などによってカメラ入力端子に画像の入力がなくなったとき、アラーム動作を行います。（☞38ページ）
- ●コマンドアラーム　：ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。（☞38ページ）
- ●AVMD（Advanced Video Motion Detector）
  ：カメラ入力端子に接続されたカメラの映像において物体の移動や置き去り／持ち去りを検出すると、アラーム動作を行います。（☞37ページ）

アラーム発生時の動作について

●ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンを表示する（☞6ページ）

アラームが発生すると、ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。

✐**メモ**✐

- ［アラーム発生通知］ボタンは、30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

●アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する

アラームが発生すると、後面のアラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラーム設定ページの［アラーム］タブで行います。（☞40ページ）

●画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像を送信します。サーバーへ画像を送信する設定は、アラーム設定ページの［アラーム］タブ（☞39ページ）、サーバー設定ページの［FTP］タブ（☞48ページ）で行います。

●Eメールでアラーム発生を通知する

アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラームメール）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。送信先は4件まで登録することができます。アラームメールの設定は、アラーム設定ページの［通知］タブ（☞41ページ）、サーバー設定ページの［メール］タブ（☞47ページ）で行います。

●指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）をご使用の場合に有効な機能です。独自アラーム通知を「ON」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラーム設定ページの［通知］タブで行います。（☞42ページ）

画像認識機能について

本機には、画像認識機能の１つであるAVMD機能を搭載しています。あらかじめ検知条件を設定（☞31ページ）しておくことによって、画面上における物体の移動や置き去り／持ち去りを検知することができます。
物体の移動や置き去り／持ち去りを検知すると、ライブ画像上に枠や軌跡が表示されます（☞12ページ）。また、検知した対象を別のアナログカメラで自動追尾させることもできます（☞37ページ）。
さらに、奥行きを設定することで人物が動作し得る範囲や検知すべき物体の大きさを特定させておくことができます。
AVMD機能は2つのCHまで同時に動作させることができます。

■侵入者検知

AVMDを有効にしたCHにおいて、物体の移動を検知します。なお、同時に検知できるのは1CHあたり最大8個までです。9個目以降は検知されません（移動物体の大きさによっては、最大数まで検知できない場合があります）。
検知状態は、移動物体が画面外に出たときに解除されます。
侵入者検知領域を設定（☞31ページ）しておくと、そのエリアに移動物体が侵入したときにアラームを発生させることができます（誤報を防ぐため、アラームとして発報するには、移動物体として2秒以上検知されている必要があります）。

■置き去り／持ち去り検知

AVMDを有効にしたCHにおいて、置き去り／持ち去りエリアを設定（☞31ページ）しておくと、そのエリアに物体が置き去り／持ち去りされたときにアラームを発生させることができます（アラームとして発報するには、置き去り／持ち去り状態が20秒以上維持されている必要があります）。
なお、同時に検知できるのは1CHあたり最大8個までです。9個目以降は検知されません。
検知状態は、検知してから約40秒後に解除されます。

!! 重要 !!

- AVMDは、設定したプリセットポジションからカメラの向きを移動させている間や移動させたあとも動作し続けます。
  ただし、誤報の原因になりますので、AVMDを有効にしているCHのカメラの向きは動かさずに使用することをおすすめします。
- 以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。
  - ・背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
  - ・夜間など、映像の輝度が低い。
  - ・被写体の動きが早すぎたり遅すぎたりする。
  - ・被写体が小さすぎたり大きすぎたりする。
  - ・屋外、窓際など光線状態が変わりやすい。
  - ・日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
  - ・蛍光灯がちらつく。
  - ・被写体に奥行きがある。
  - ・カメラのドームに水滴や汚れが付いている。
  - ・被写体がカメラに向かってまっすぐ移動している。
  - ・移動物体が多すぎる。
  - ・カメラが揺れている。
  - ・天候が著しく悪い。
- AVMDの設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定を行ったあと、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しない場合や誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。
- 置き去り／持ち去り検知は、輝度の変化に大きく左右されます。そのため、室内の輝度が安定している場所での使用をおすすめします。
- 画面内に検知対象が存在している間は、5秒おきにアラーム発報が繰り返されます。そのため、メールや独自アラームも5秒おきに通知されます。

AVMD検知時のライブ画ページについて

① **［アラーム発生通知］ボタン**
AVMDを検知したCH（①～④）が点灯します。

② **枠**
画面内で移動物体を検出すると、青色の枠が表示されます。検出した移動物体が設定した検知領域に侵入し、アラームが発生すると、枠の色が赤色になります。
置き去り／持ち去りを検知したときも赤色の枠が表示されます。
ライブ画像下の「枠」のON／OFFによって表示・非表示を切り換えることができます。

③ **軌跡**
検出した移動物体が動いた軌跡が緑色で表示されます。表示される時間は3秒間です。ライブ画像下の「軌跡」のON／OFFによって表示・非表示を切り換えることができます。

FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーへ接続し画像を送信することができます。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信することができます。

!!重要!!
- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。

アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム発生時の画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。
FTPサーバーの設定は、サーバー設定ページの［FTP］タブで行います。（☞48ページ）
アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラーム設定ページの［アラーム］タブで行います。（☞39ページ）

✎メモ✎
- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。

指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーの設定は、サーバー設定ページの［FTP］タブで行います。（☞48ページ）
定期送信を行うかどうか、スケジュールに関する設定は、ネットワーク設定ページの［FTP定期］タブで行います。（☞54ページ）

✎メモ✎
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存することができます。
※弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信設定」を「OFF」（☞54ページ）に設定してください。詳しくは、ネットワークディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
※SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因に関わらず保証いたしかねます。

SDメモリーカードに画像を保存する

［SDメモリーカード］タブ（☞20ページ）で「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定すると、「定期送信」でFTPサーバーへ送信できなかった画像をSDメモリーカードへ保存することができます。
※使用CH数（☞23ページ）、画像の解像度や画質（☞24ページ）などにより、保存される画像の容量が異なります。SDメモリーカードを使用する場合は、記録状況を確認のうえ、定期送信の「送信間隔」を「5秒」以上に設定することをおすすめします。（☞54ページ）

FTPサーバーに画像を送信する（つづき）

SDメモリーカードから画像を取得する

1 Windowsコマンドプロンプトまたは FTPクライアントソフトを使用して本機にアクセスします。
→ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。
※FTPではsd_dataディレクトリーのみアクセスするようにしてください。

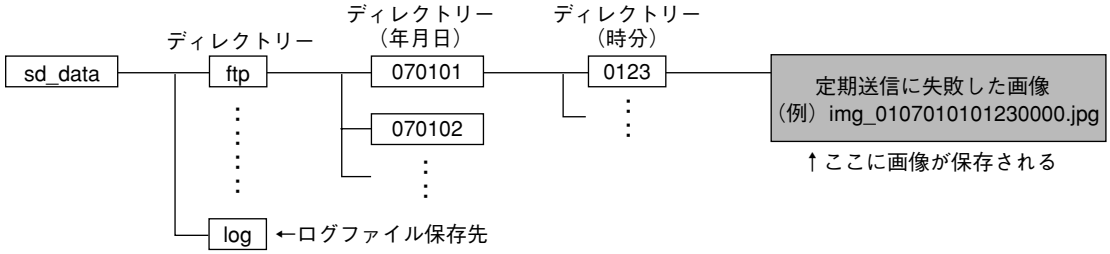
✎**メモ**✎
- FTPで本機へアクセスするには、［ネットワーク］タブで「本機へのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。（☞50ページ）

2 アクセスレベルが「1.管理者」のユーザー名とパスワードを入力します。
→本機にログインします。

✎**メモ**✎
- お買い上げ時、アクセスレベルが「1.管理者」のユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。（☞44ページ）

3 「sd_data」ディレクトリーに移動して画像を取得します。

✎**メモ**✎
- 本機にログインすると、各ディレクトリーが表示されます。SDメモリーカード内の画像は「sd_data」ディレクトリー内に保存されていますので、「sd_data」ディレクトリーに移動して画像を取得してください。
  ＜「sd_data」ディレクトリー構造＞



＜例＞img_0107010101230000.jpgをWindowsコマンドプロンプトを使って取得する場合
①「c:¥>ftp 192.168.0.10」と入力し、［Enter］キーを押します。
→192.168.0.10にFTP接続します。
②ユーザー名、パスワードを入力してログインします。
③「ftp> cd sd_data/ftp/070101/0123」と入力し、［Enter］キーを押します。
→「sd_data/070101/0123」にディレクトリーを移動します。
④バイナリー指定を行います。「ftp> bin」と入力し、［Enter］キーを押します。
⑤画像を取得します。「ftp> get img_0107010101230000.jpg」と入力し、［Enter］キーを押します。
→画像が取得されます。
⑥「ftp> bye」と入力し、［Enter］キーを押します。
→FTPからログアウトします。

- Windowsコマンドプロンプトなどを使用して、SDメモリーカード内の画像を削除することもできます。

操作

本機のネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

①ユーザー認証／ホスト認証アクセスの制限
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「ON」にすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。（☞44、45ページ）

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPのポート番号を変更することで、不正アクセスを防止することができます。（☞50ページ）

✎**メモ**✎

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回（起動元のウェブブラウザーから［移動］ボタンでアクセスした場合は6回）以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

‼重要‼

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセスを制限するなどの対策を実施してください。

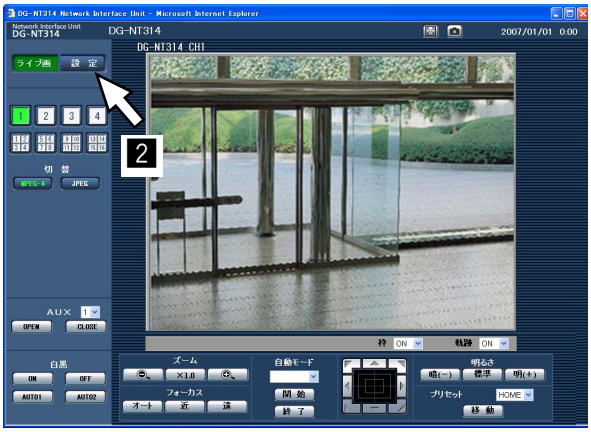
PCから設定メニューを表示して設定する

本機の設定は、設定メニューを表示して行います。
設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。

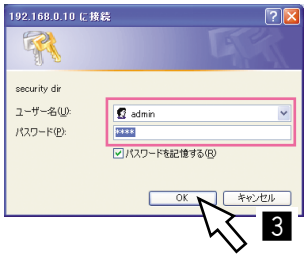
表示のしかた

1 ライブ画ページを表示します。（☞5ページ）

2 ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックします。
→ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。



3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］ボタンをクリックします。お買い上げ時の設定については、5ページをお読みください。



→設定メニューが表示されます。
設定メニューについて詳しくは、次ページをお読みください。

操作のしかた

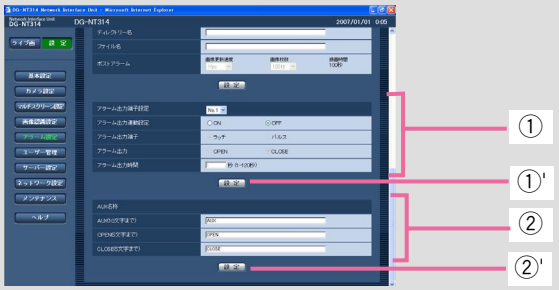
1 画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

2 設定ページの各項目を入力します。

3 入力が終了したら［設定］ボタンをクリックして、入力内容を確定します。

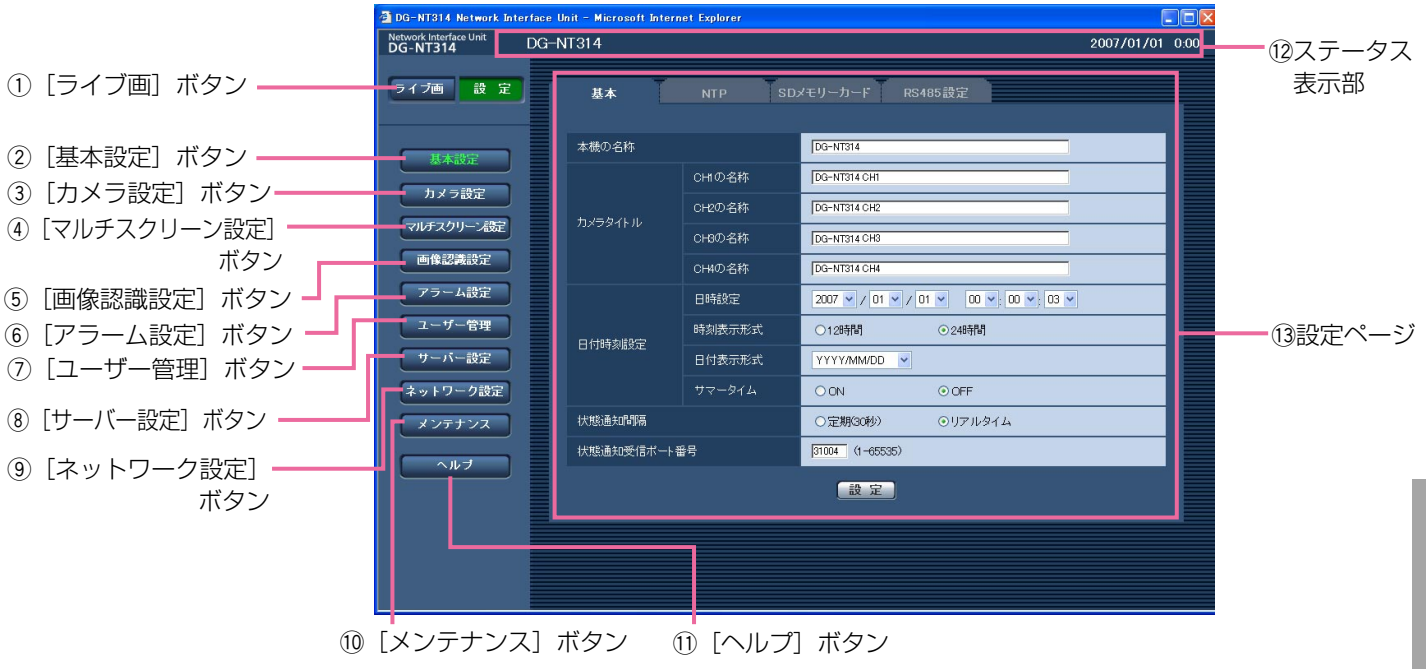
!!重要!!

- ［設定］、［登録］ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに［設定］、［登録］ボタンをクリックしてください。
  ＜例＞



「①」の項目を入力したら、「①'」（［設定］ボタン）を押します。「①'」のボタンをクリックしないと、内容が確定されません。
同様に「②」の項目を入力したら、「②'」（［設定］ボタン）をクリックします。

設定メニューの画面について



① ライブ画 **［ライブ画］ボタン**
ライブ画ページが表示されます。

② 基本設定 **［基本設定］ボタン**
基本設定ページを表示します。基本設定ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定や、NTPサーバー、SDメモリーカード、RS-485ポートに関する設定を行います。詳しくは、18ページをお読みください。

③ カメラ設定 **［カメラ設定］ボタン**
カメラ設定ページを表示します。カメラ設定ページでは、JPEG／MPEG-4画像やカメラ、音声、同軸ケーブルに関する設定を行います。詳しくは、23ページをお読みください。

④ マルチスクリーン設定 **［マルチスクリーン設定］ボタン**
マルチスクリーン設定ページを表示します。マルチスクリーン設定ページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。詳しくは、30ページをお読みください。

⑤ 画像認識設定 **［画像認識設定］ボタン**
画像認識設定ページを表示します。画像認識設定ページでは、AVMDの検知条件やスケジュールに関する設定を行います。詳しくは、31ページをお読みください。

⑥ アラーム設定 **［アラーム設定］ボタン**
アラーム設定ページを表示します。アラーム設定ページでは、アラーム発生時の動作やアラーム通知、AVMD情報の通知に関する設定を行います。詳しくは、37ページをお読みください。

⑦ ユーザー管理 **［ユーザー管理］ボタン**
ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスできるユーザーやPCを制限する認証登録に関する設定を行います。また、AVMD情報／VMD情報の付加に関する設定も行います。詳しくは、44ページをお読みください。

⑧ サーバー設定 **［サーバー設定］ボタン**
サーバー設定ページを表示します。サーバー設定ページでは、本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバーに関する設定を行います。詳しくは、47ページをお読みください。

⑨ ネットワーク設定 **［ネットワーク設定］ボタン**
ネットワーク設定ページを表示します。ネットワーク設定ページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）、FTP定期送信機能に関する設定を行います。詳しくは、49ページをお読みください。

⑩ メンテナンス **［メンテナンス］ボタン**
メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認、ファームウェアのバージョンアップや本機の設定内容の初期化などを行うことができます。詳しくは、56ページをお読みください。

⑪ ヘルプ **［ヘルプ］ボタン**
ヘルプページを表示します。

⑫ **ステータス表示部**
現在設定している本機の名称と日時を表示します。

⑬ **設定ページ**
各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。

本機の基本設定を行う［基本設定］

基本設定ページでは、本機の名称や時刻設定、NTPサーバーやSDメモリーカード、RS-485ポートに関する設定を行います。
基本設定ページは、［基本］タブ、［NTP］タブ、［SDメモリーカード］タブ、［RS485設定］タブで構成されています。

基本設定を行う［基本］

基本設定ページの［基本］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、本機の名称や日時などの設定を行います。

［本機の名称］
本機の名称を入力します。［設定］ボタンをクリックすると、入力した名称がステータス表示部に表示されます。
入力可能文字数：0～20文字
お買い上げ時の設定：DG-NT314

［カメラタイトル］
カメラ入力端子に接続されたカメラの名称を入力します。ライブ画ページを表示したとき、画面左上に入力した名称が表示されます。
入力可能文字数：0～20文字
お買い上げ時の設定：CH1の名称：DG-NT314 CH1
CH2の名称：DG-NT314 CH2
CH3の名称：DG-NT314 CH3
CH4の名称：DG-NT314 CH4

［日時設定］
現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12時間」を選択した場合は、「AM／PM」を選択できます。
設定可能範囲　：2006/01/01　00:00:00～
2035/12/31　23:59:59

［時刻表示形式］
時刻の表示方法を12時間／24時間から選択します。「日時設定」は、この設定にあわせて入力してください。
お買い上げ時の設定：24時間

［日付表示形式］
日付の表示形式を選択します。
日時設定を「2007年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。
DD/MM/YYYY
：01/04/2007 13:10と表示されます。
MM/DD/YYYY
：04/01/2007 13:10と表示されます。
DD/Mmm/YYYY
：01/Apr/2007 13:10と表示されます。
YYYY/MM/DD
：2007/04/01 13:10と表示されます。
Mmm/DD/YYYY
：Apr/01/2007 13:10と表示されます。
お買い上げ時の設定：YYYY/MM/DD

［サマータイム］
サマータイムを使用するかどうかをON／OFFで設定します。サマータイムを使用される地域でご使用ください。
ON　：時刻をサマータイムにします。時刻表示に「＊」が表示されます。
OFF　：サマータイムを解除します。
お買い上げ時の設定：OFF

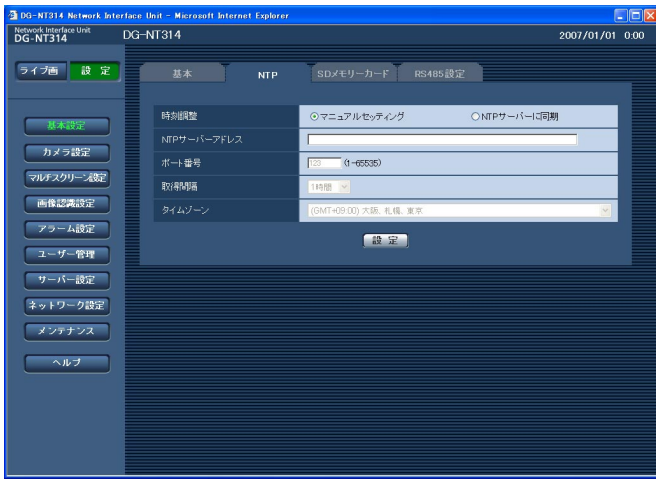
[状態通知間隔]
アラーム状態や音声状態など本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。
状態に変化があったときは、ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタン、［受話］ボタン、［送話］ボタンを表示してお知らせします。
定期（30秒）：30秒ごとに状態を更新し、通知を行います。
リアルタイム：状態に変化があった場合に通知を行います（［アラーム発生通知］ボタンは除く）。
お買い上げ時の設定：リアルタイム

✎**メモ**✎
- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

[状態通知受信ポート番号]
「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合にのみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を指定します。
設定可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：31004

NTPサーバーに関する設定を行う［NTP］

基本設定ページの［NTP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、NTPサーバーのアドレスやポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。



[時刻調整]
時刻を設定するときに基準とする対象を以下から設定します。
マニュアルセッティング
：基本設定ページの［基本］タブで設定した時刻が基準になります。
NTPサーバーに同期
：NTPサーバーから取得した時刻が基準になります。
お買い上げ時の設定：マニュアルセッティング

[NTPサーバーアドレス]
NTPサーバーのアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

!! **重要** *!!*
- サーバーのホスト名を入力した場合は、ネットワーク設定ページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞50ページ）
- 日本語ドメイン名には対応していません。

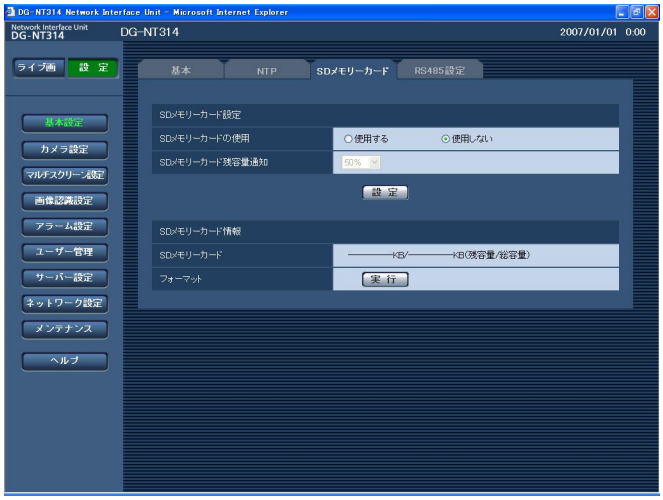
[ポート番号]
NTPサーバーのポート番号を入力します。
入力可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：123

[取得間隔]
NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を設定します。
お買い上げ時の設定：1時間

[タイムゾーン]
ご使用の地域に応じたタイムゾーンを設定します。
お買い上げ時の設定：（GMT+09:00）大阪、札幌、東京

SDメモリーカードに関する設定を行う［SDメモリーカード］

基本設定ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、SDメモリーカードに関する設定を行います。



■SDメモリーカード設定

［SDメモリーカードの使用］

SDメモリーカードを使用するかどうかを、使用する／使用しないで設定します。
お買い上げ時の設定：使用しない

!!重要!!

- SDメモリーカードに画像を書き込んでいる際に、停電などにより電源が落ちてしまった場合は、SDメモリーカードやSDメモリーカードの内容が破壊されることがあります。SDメモリーカードを使用するときは、UPSのご使用をおすすめします。
- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してからSDメモリーカードを取り外してください。
- SDメモリーカードを取り付けるときは、本機の電源を切ってから取り付けてください。（☞取扱説明書　基本編）
  SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。

［SDメモリーカード残容量通知］

独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%になった場合に通知を開始するかを以下から選択します。
　50 %／20 %／10 %／5 %／2 %
お買い上げ時の設定：50 %

✎メモ✎

- SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値になったときに通知されます。
  例えば、「50%」に設定した場合、残容量が50 %以下になったときに、設定した独自アラーム通知先にそれぞれ通知されます。（☞42ページ）
  通知するタイミングは多少ずれる場合があります。

■SDメモリーカード情報

［SDメモリーカード］

SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。
SDメモリーカードの状態によって、次のように表示される場合があります。

表示内容	説明
----------KB/----------KB	カードなし。 その他のエラーによりサイズ取得ができないなど。
**********KB/**********KB	未フォーマットである。 カードがロックされているなど。

✎メモ✎

- SDメモリーカードの残容量が0 KBになるとSDメモリーカードに画像が保存されません。
  通知機能を使用すると、SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、設定した独自アラーム通知先に通知することができます。
  （☞42ページ）

（次ページへ続く）

［フォーマット］
SDメモリーカードをフォーマットするときは、［実行］ボタンをクリックします。

!! 重要 !!
- フォーマットを行う前に、SDメモリーカードを「使用する」、「定期送信設定」を「OFF」（☞54ページ）に設定してください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず設定メニューからフォーマットしてください。設定メニュー以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しない場合があります。
  ・FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
  ・システムログの保存／取得
  ・弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
- SDメモリーカードへの画像の書き込み中やFTPアクセス中など、SDメモリーカードへのアクセス中は、フォーマットができません。
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- SDメモリーカードへの画像書き込み中やFTPアクセス中などSDメモリーカードへのアクセス中は、フォーマットができません。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーが作成されるため、残容量が総容量よりも少なく表示されます（残容量／総容量は、フォーマット後、画面を更新すると更新されます）。
- SDメモリーカードの容量によっては、フォーマットに30秒以上かかります。
- 動作確認済みSDメモリーカード
  松下電器産業株式会社製（64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB）
  ※SDHCメモリーカードには対応していません。

SDメモリーカード保存枚数の目安

!! 重要 !!
- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体や保存設定により変わります。

解像度：VGA

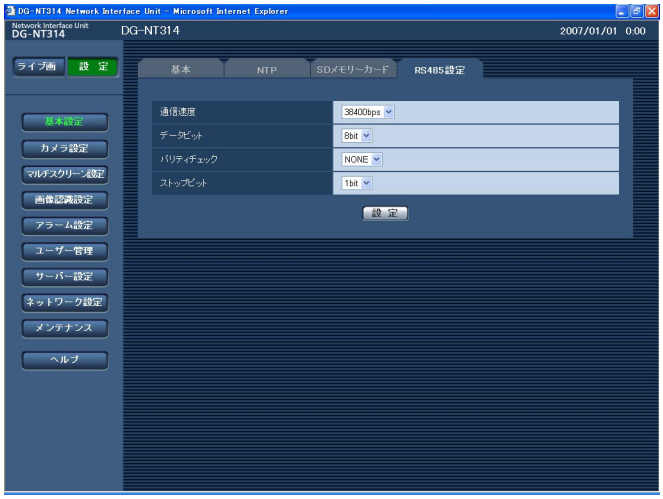
SDメモリーカードの容量	画 質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
2 GB	約10 000枚	約14 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約20 000枚	約22 000枚	約26 000枚	約28 000枚	約30 000枚	約32 000枚
1 GB	約5 000枚	約7 000枚	約8 000枚	約9 000枚	約10 000枚	約11 000枚	約13 000枚	約14 000枚	約15 000枚	約16 000枚
512 MB	約2 500枚	約3 500枚	約4 000枚	約4 500枚	約5 000枚	約5 500 枚	約6 500枚	約7 000枚	約7 500枚	約8 000枚
256 MB	約1 250枚	約1 750枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 500枚	約2 750枚	約3 250枚	約3 500枚	約3 750枚	約4 000枚
128 MB	約625枚	約875枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 250枚	約1 375枚	約1 625枚	約1 750枚	約1 875枚	約2 000枚
64 MB	約312枚	約437枚	約500枚	約562枚	約625枚	約687枚	約812枚	約875枚	約937枚	約1 000枚

解像度：QVGA

SDメモリーカードの容量	画 質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
2 GB	約24 000枚	約26 000枚	約27 000枚	約28 000枚	約30 000枚	約32 000枚	約36 000枚	約38 000枚	約40 000枚	約42 000枚
1 GB	約12 000枚	約13 000枚	約13 500枚	約14 000枚	約15 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約19 000枚	約20 000枚	約21 000枚
512 MB	約6 000枚	約6 500枚	約6 750枚	約7 000枚	約7 500枚	約8 000枚	約9 000枚	約9 500枚	約10 000枚	約10 500枚
256 MB	約3 000枚	約3 250枚	約3 375枚	約3 500枚	約3 750枚	約4 000枚	約4 500枚	約4 750枚	約5 000枚	約5 250枚
128 MB	約1 500枚	約1 625枚	約1 687枚	約1 750枚	約1 875枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 375枚	約2 500枚	約2 625枚
64 MB	約750枚	約812枚	約843枚	約875枚	約937枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 187枚	約1 250枚	約1 312枚

RS-485ポートに関する設定を行う［RS485設定］

基本設定ページの［RS485設定］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、RS485の通信速度などの設定を行います。



［通信速度］
RS485ポートでシリアル通信を行う際の通信速度を以下から選択します。
　9600 bps／19200 bps／38400 bps
お買い上げ時の設定：38400 bps

［データビット］
RS485ポートでシリアル通信を行う際のデータビットを7 bit／8 bitから選択します。
お買い上げ時の設定：8bit

［パリティチェック］
RS485ポートでシリアル通信を行う際のパリティチェック方法を以下から選択します。
　NONE　：パリティチェックは行いません。
　ODD　：奇数パリティチェックを行います。
　EVEN　：偶数パリティチェックを行います。
お買い上げ時の設定：NONE

［ストップビット］
RS485ポートでシリアル通信を行う際のストップビットを1 bit／2 bitから選択します。
お買い上げ時の設定：1 bit

画像・音声に関する設定を行う［カメラ設定］

カメラ設定ページでは、JPEG／MPEG-4画像の設定やカメラ、音声、同軸ケーブルに関する設定を行います。
カメラ設定ページは、［JPEG/MPEG-4］タブ、［カメラ］タブ、［音声］タブ、［同軸設定］タブで構成されています。

JPEG／MPEG-4画像に関する設定を行う［JPEG/MPEG-4］

カメラ設定ページの［JPEG/MPEG-4］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、JPEG／MPEG-4画像の配信量や解像度、画質などを設定します。ここで設定した内容は各CHで共通になります。CHごとに個別の設定をしたい場合はCH個別設定画面で行います。

［配信量制御（ビットレート）］

データの配信量を以下から選択します。
制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／512 kbps／1024 kbps／2048 kbps／4096 kbps／8192 kbps／16384 kbps
お買い上げ時の設定：制限なし

✎**メモ**✎

- 「64 kbps」に設定した場合は、帯域を十分に確保できないため、［音声］タブの「音声モード」を「OFF」に設定してください。（☞28ページ）
- 「64 kbps」や「128 kbps」に設定している場合、帯域を十分に確保できないため、画像配信とFTP定期送信を同時に動作させないようにしてください。
- 「制限なし」に設定した場合でも、合計で約20 Mbps以上の配信を行うと、画像が壊れることがあります。
- MPEG-4配信とJPEG配信、MPEG-4配信とFTP送信をそれぞれ組み合わせると、総配信量は設定値の約2倍まで配信されることがあります。

［使用CH選択］

使用するカメラ入力端子のCH番号を以下から選択します。
CH1のみ／CH1～2／CH1～3／CH1～4
お買い上げ時の設定：CH1～4

!!重要!!

- 「JPEG設定」、「MPEG-4設定」で設定した値は、各CHで共通になります。

（次ページへ続く）

■JPEG設定

[画像更新速度]
JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。
0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps／2 fps／3 fps／5 fps *／6 fps *／10 fps *／15 fps *／30 fps *
お買い上げ時の設定：3 fps

✎メモ✎
- 「*」付きの値を設定すると、「使用CH選択」、「MPEG-4配信」、JPEG設定の「解像度」、JPEG設定の「画質」の設定値によっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。詳しくは、26ページをお読みください。
- JPEG画像は設定値まで（最低3 fpsは保証）しかエンコードされません。接続機器から設定値以上の要求を行う場合は、設定値を変更してください。

[解像度]
JPEG画像の解像度をVGA（640×480）／QVGA（320×240）のどちらかに設定します。
お買い上げ時の設定：VGA（640×480）

[画質]
JPEG画像の画質を設定します。画質は、以下から選択できます。
0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質
お買い上げ時の設定：5 標準

✎メモ✎
- JPEG画像の解像度および画質は、ワンショット時、アラーム画像送信時、FTP定期送信時も共通の設定になります。

[CH個別設定へ] ボタン
CH個別設定画面に移動します。（☞26ページ）

■MPEG-4設定（CH共通）

[MPEG-4配信]
MPEG-4画像を配信するかどうかをON／OFFで設定します。
ON　：MPEG-4画像を配信することができます。
OFF　：MPEG-4画像を配信しません。
お買い上げ時の設定：ON

✎メモ✎
- 「MPEG-4配信」を「ON」に設定すると、MPEG-4とJPEG両方の画像を見ることができます。ただし、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

[1クライアントあたりのビットレート]
1クライアントに対するMPEG-4ビットレートを以下から選択します。
64 kbps／128 kbps *／256 kbps *／512 kbps *／1024 kbps *／1536 kbps *／2048 kbps *／3072 kbps *／4096 kbps *／6144 kbps*
お買い上げ時の設定：512 kbps *

✎メモ✎
- ビットレートは、「配信量制御（ビットレート）」と連動します（☞23ページ）。そのため、「*」付きの値を設定した場合、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。

[解像度]
MPEG-4画像の解像度をVGA（640×480）／QVGA（320×240）のどちらかに設定します。
お買い上げ時の設定：VGA（640×480）

[画質]
MPEG-4画像の画質を以下から選択します。
画質優先／標準／動き優先
お買い上げ時の設定：標準

[リフレッシュ周期]
MPEG-4画像をリフレッシュする周期（Iフレーム周期）を1秒～5秒で設定します。
エラーの多いネットワーク環境では、リフレッシュ周期を短く設定すると画像の乱れを少なくすることができます。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
お買い上げ時の設定：3秒

[CH個別設定へ] ボタン
CH個別設定画面に移動します。（☞26ページ）

（次ページへ続く）

■MPEG-4設定（CH個別）

[配信方式]

画像を配信するときの方法を以下から選択します。

ユニキャスト（ポート番号設定：オート）
：1台のカメラに最大8人までアクセスして画像を見ることができます。本機から画像と音声を送信するときに使用するポート番号1（画像）とポート番号2（音声）は、自動で設定されます。LAN内で使用する場合などMPEG-4画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをおすすめします。

ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）
：1台のカメラに最大8人までアクセスして画像を見ることができます。本機から画像と音声を送信するときに使用するポート番号1（画像）とポート番号2（音声）を設定する必要があります。
インターネット経由でMPEG-4画像を配信したい場合などは、ブロードバンドルーターに設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください。詳しくは、使用するブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

マルチキャスト：人数制限なしに、同時に画像を見ることができます。

※最大ユーザー数については、5ページをお読みください。

お買い上げ時の設定：ユニキャスト
（ポート番号設定：オート）

!! 重要 !!
- 「マルチキャスト」に設定したとき、「配信量制御（ビットレート）」は、全CHの「1クライアントあたりのビットレート」の合計より大きく設定してください。
- 「マルチキャスト」に設定した場合、アクセスを切断してから配信が止まるまで最大2分間かかります。

[MPEG-4最大使用クライアント数]

MPEG-4画像を同時に配信できるユーザー数を設定します。最大8人まで設定できます。

※各CHのMPEG-4画像は、設定した人数までしか配信されません。

設定可能範囲：1～8

お買い上げ時の設定：4

!! 重要 !!
- モニタリングPCによっては、マルチキャストポート番号がすでに使用されている場合があります。その場合、画像を見ることができませんので、マルチキャストポート番号を変更してください。
- インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合、画像が表示されないことがあります。その場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合、受信で使用しないLANカードを「無効にする」に設定してください。

[ユニキャストポート番号1（画像）]

ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用するポート番号）を入力します。

設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）

お買い上げ時の設定：CH1：32004
CH2：32006
CH3：32008
CH4：32010

[ユニキャストポート番号2（音声）]

ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用するポート番号）を入力します。

設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）

お買い上げ時の設定：33004

[マルチキャストアドレス]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255

お買い上げ時の設定：239.192.0.20

[マルチキャストポート番号]

マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用するポート番号）を入力します。

設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）

お買い上げ時の設定：CH1：37004
CH2：37006
CH3：37008
CH4：37010

[マルチキャストTTL]

マルチキャストのTTL値を入力します。

設定可能範囲：1～254

お買い上げ時の設定：16

■JPEG画像更新速度の計算

アクセス可能な最大ユーザー数がアクセスしたときに配信可能なJPEG画像の更新速度を計算できます。
計算値はあくまでも目安です。設定やネットワークの状態によって画像更新速度は増減します。

[MPEG-4最大使用時のJPEGクライアント数]

接続可能な各CHのJPEGクライアント数が表示されます。

[JPEGで監視するクライアント数]

ウェブブラウザーからJPEG画像を表示して監視を行う各CHのユーザー数を選択します。

[ブラウザ監視時の画像更新速度]

ウェブブラウザーからJPEG画像を表示して監視を行うときの画像更新速度の設定値が表示されます。

[JPEGを使用する接続機器の台数]

JPEG画像を配信する各CHの接続機器の台数を選択します。

[各接続機器に対する画像更新速度]

各接続機器に対して配信が保証できる画像更新速度の値を計算し、表示します。

CH個別設定画面について

各CHのJPEG画像、MPEG-4画像の設定を個別に行うことができます。ネットワークの負荷を十分考慮して設定してください。
CH個別設定画面で変更を行い、［JPEG/MPEG-4］画面に戻ると、変更した項目に「※」が付きます。

[戻る]

［JPEG/MPEG-4］画面に戻ります。（☞23ページ）

[CH番号]

設定を行うカメラのCH番号を選択し、以下の項目を設定します。

※設定の項目については、23～25ページをお読みください。

✎メモ✎

- JPEG設定の「画像更新速度」を設定するにあたって、以下の点に注意してください。
  - ・「MPEG-4配信」をOFFに設定している場合、全使用CHで合計40 fps以内になるように設定してください（「解像度」がQVGAの場合は、1／4の値で計算してください）。
    （例）CH1：VGA、10 fps、
    CH2：VGA、15 fps、
    CH3：QVGA、30 fps、
    CH4：QVGA、30 fpsの場合、
    10（CH1）＋15（CH2）＋30／4（CH3）＋30／4（CH4）
    =40 fps(合計)
  - ・「MPEG-4配信」をいずれかのCHで「ON」にしている場合、全使用CHで合計15 fps以内になるように設定してください（「解像度」がQVGAの場合は、1／4の値で計算してください）。

  上記の値を超えるような設定をすると、画像更新速度は全体的に低下します。
  なお、「画質」の設定値や映像の内容、ネットワークの状態などによっても、画像更新速度は設定した値よりも低下することがあります。
- 個別に設定を変更した場合は、「JPEG画像更新速度の計算」は行えません。

カメラに関する設定を行う［カメラ］

カメラ設定ページの［カメラ］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
ここでは、カメラのセットアップメニューを表示し、操作パネルを使ってカメラの動作などに関する設定を行います。設定内容については、カメラの取扱説明書をお読みください。

［CH番号］
設定を行うカメラのCH番号を選択し、カメラに対する設定を行います。

［ズーム］ボタン、［フォーカス］ボタン、コントロールパッド／ボタン
6～7ページをお読みください。

操作パネルについて

セットアップメニューの操作は操作パネルの各ボタンを使って行います。

ON（［ON］ボタン）
：カメラのセットアップメニューを表示します。

OFF（［OFF］ボタン）
：カメラのセットアップメニューを非表示にします。

SET（［設定］ボタン）
：次の画面に移動します。

◀（［左］ボタン）／▶（［右］ボタン）
：設定内容を変更します。

▼（［下］ボタン）／▲（［上］ボタン）
：カーソルを移動します。

ESC（［ESC］ボタン）
：前の画面に戻ります。

RESET/SPECIAL（［RESET/SPECIAL］ボタン）
：カメラのセットアップメニューを表示し、「SPECIAL」にカーソルを合わせて［RESET/SPECIAL］ボタンをクリックすると、SPECIAL SETUP画面に移動します。
また、SPECIAL SETUP画面の「REFRESH」にカーソルを合わせて［RESET/SPECIAL］ボタンをクリックすると、ポジションの位置が補正されます。
項目名や動作などはカメラによって異なる場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

ALL RESET（［ALL RESET］ボタン）
：SPECIAL SETUP画面の「CAMERA RESET」にカーソルを合わせて［ALL RESET］ボタンをクリックすると、設定内容がお買い上げ時の状態にリセットされます。リセットされる設定内容については、カメラの取扱説明書をお読みください。

音声に関する設定を行う［音声］

カメラ設定ページの［音声］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、CH1の音声に関する設定を行います。

［音声モード］
本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを以下から選択します。

OFF　：本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。したがって、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
受話　：本機からの音声データをPCで受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。
送話　：PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。
双方向　：本機からの音声データをPCで受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。また、PCからの音声データを本機に送信し、本機に接続したスピーカーから音声を流すこともできます（トランシーバー方式）。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。

お買い上げ時の設定：OFF

✎メモ✎
- MPEG-4画像の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されている場合、MPEG-4画像を見ながら送話操作を行うことができません。
  この場合は、ライブ画面で［JPEG］ボタンをクリックし、JPEG配信に切り換えると送話操作ができるようになります。

［ビットレート］
音声を送信／受信するときのビットレートを16 kbps／32 kbpsのどちらかに設定します。
お買い上げ時の設定：32 kbps

［受話間隔（PCで聞く）］
音声の受話間隔を以下から選択します。
20ミリ秒／40ミリ秒／80ミリ秒／160ミリ秒
お買い上げ時の設定：40ミリ秒

✎メモ✎
- 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。
  お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。

［送話間隔（PCから話す）］
音声の送話間隔を以下から選択します。
160ミリ秒／320ミリ秒／640ミリ秒／1280ミリ秒
お買い上げ時の設定：640ミリ秒

✎メモ✎
- 送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。
  お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。
- カメラのパン・チルト・ズーム操作を行っている場合や、複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声が途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音をおさえることができます。

（次ページへ続く）

[送話先ポート番号（PCから話す)]
送話先ポート番号（PCから本機へ音声を送信するときの本機側のポート番号）を入力します。
設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）
お買い上げ時の設定：34004

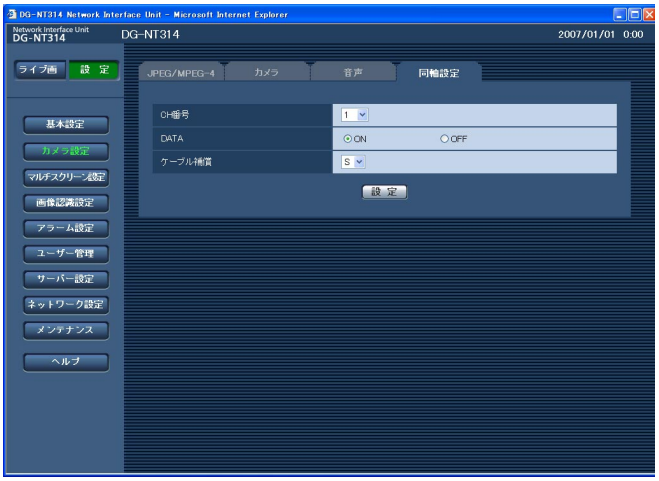
✎**メモ**✎
- 送話先ポート番号は、MPEG-4画像を配信している場合に使用されます。「MPEG-4配信」が「OFF」に設定（☞24ページ）されている場合は、設定する必要はありません。

[音声許可レベル]
音声の送信／受信を許可するアクセスレベルを以下から設定します。アクセスレベルについては、44ページをお読みください。
1.管理者のみ／2.カメラ制御以上／全て許可
お買い上げ時の設定：全て許可

✎**メモ**✎
- 音声と画像は同期しません。そのため、若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。

同軸通信に関する設定を行う［同軸設定］

カメラ設定ページの［同軸設定］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、同軸通信におけるカメラ制御の有無やケーブル補償に関する設定を行います。



[CH番号]
設定を行うカメラのCH番号を選択し、以下の項目を設定します。

[DATA]
同軸通信でカメラ制御を行うかどうかをON／OFFで設定します。
ON　：同軸通信でカメラ制御を行います。
OFF　：カメラ制御を行いません。
お買い上げ時の設定：ON

[ケーブル補償]
同軸ケーブルのケーブル補償（カメラから送られてくる映像信号の伝送ロスの補償）を以下から選択します。

!!重要!!
- ケーブル補償はケーブルの長さに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと、カメラの映像が正しく表示されない場合があります。

※数字は5C-2Vのケーブルを使用した場合の目安です。
S：ケーブル長が400 m未満の場合に選択します。
M：ケーブル長が400 m以上700 m未満の場合に選択します。
L：ケーブル長が700 m以上1 200 m未満の場合に選択します。
お買い上げ時の設定：S

マルチスクリーンの設定を行う［マルチスクリーン設定］

マルチスクリーン設定ページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。
（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
※マルチスクリーンで表示可能なカメラは以下になります。（2008年5月現在）
DG-NT314に接続されているカメラおよびネットワーク接続されているRP（DG）-NP244シリーズ、RP（DG）-NP1000シリーズ、WV-NW474S、WV-NP472、WV-NS320、DG-NS202、DG-NF282、DG-NS202A、DG-NT304、DG-NF302、DG-NP304シリーズ

［IPアドレス］
マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を設定します。4台を1グループとして、最大16台まで設定できます。
表示したいカメラのHTTPポート番号の設定を変更している場合は、「IPアドレス:ポート番号」を入力してください。（例：192.168.0.10:8080）
入力可能文字数：1～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

［CH番号］
本機などのCH情報を持つネットワーク機器をマルチスクリーン表示する場合に、CH番号1～4を設定します。CH情報を持たない機器を設定する場合は、「－」に設定してください。
設定可能範囲：－、1～4
お買い上げ時の設定：－

［カメラタイトル］
カメラの名称を入力します。入力した名称がマルチスクリーン画面に表示されます。
入力可能文字数：0～20文字
お買い上げ時の設定：空欄

✎メモ✎
- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。
- 本機に接続されているカメラをマルチスクリーンで表示させる場合、本機のIPアドレスを設定してください。

AVMDの設定を行う［画像認識設定］

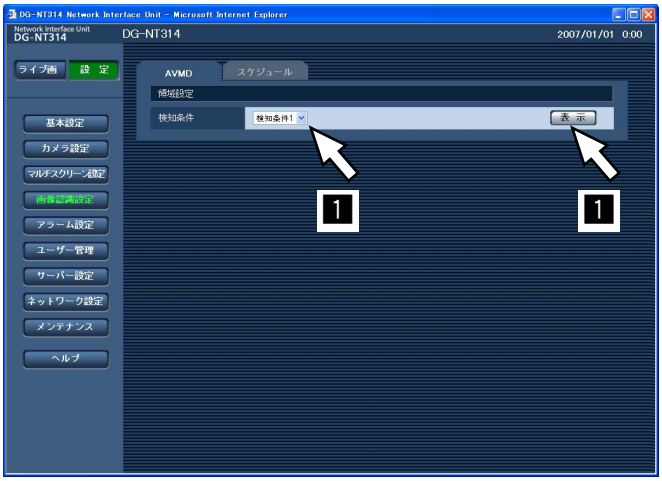
画像認識設定ページでは、AVMDの検知領域や奥行き、AVMDスケジュールの設定を行います。
画像認識設定ページは、［AVMD］タブ、［スケジュール］タブで構成されています。

検知条件を設定する［AVMD］

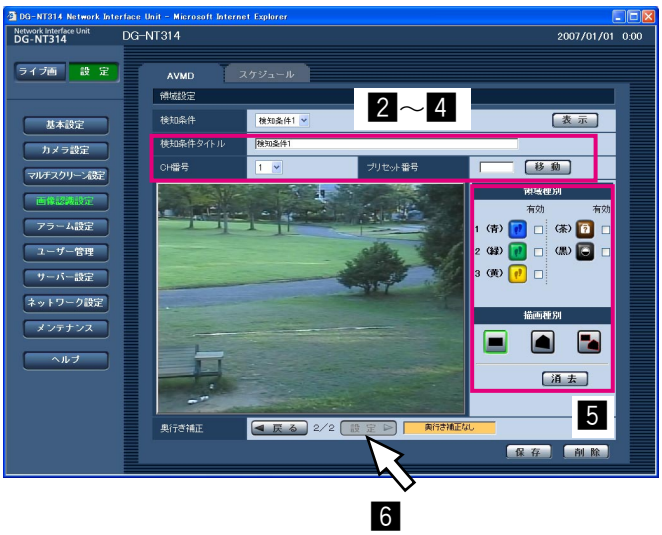
画像認識設定ページの［AVMD］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
AVMDの検知条件を設定します。検知条件は8種類まで設定でき、全4CHの中で全8ポジションの画像に対応させることができます。
侵入者検知領域3種類と物体の置き去り／持ち去り領域、マスク領域をそれぞれ8か所まで設定することができます。
検知条件を編集する場合も、設定と同様の手順で行います。

!!重要!!

- 検知条件を設定しただけではAVMD機能には反映されません。設定を反映するには、［アラーム］タブの「AVMD」で、保存した検知条件を選択してください。ただし、AVMDを有効にできるのは全4CHのうち2CHまでです。



1 「検知条件」から設定したい検知条件のタイトルを選択して［表示］ボタンをクリックします。
→設定項目が表示されます。



✎メモ✎

- すでに検知条件が設定されている場合は設定したタイトルが表示されます。設定したタイトルを選択して［表示］ボタンをクリックすると、設定内容が表示され、更新できるようになります。

2 「検知条件タイトル」にタイトルを入力します。
入力可能文字数：1～20文字
（空白で設定すると、お買い上げ時の設定になります）
お買い上げ時の設定：検知条件1～8

3 「CH番号」からAVMDを動作させるCHを選択します。
設定可能範囲：1～4

4 「プリセット番号」にAVMDを動作させるポジションのプリセット番号を入力し、［移動］ボタンをクリックします。
設定可能範囲：空欄、1～256

5 侵入者または物体の置き去り／持ち去りを検知する領域を設定します。

①「領域種別」の「1（青）」～「(黒)」のいずれかのアイコンをクリックします。

（次ページへ続く）

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

✎メモ✎
- アイコン横の（　）内の色は検知領域を表示する枠の色です。
- 「□1（青）」～「□3（黄）」は侵入者を検知したい領域を設定するときに選択します。
  設定した領域内に移動物体が侵入した場合に、アラームが発生します（移動物体を検出してからアラームが発生するまでには2秒かかります）。
- 「□（茶）」は物体の置き去り／持ち去りを検知したい領域を設定するときに選択します。
  設定した領域内に外から物が持ち込まれ放置された場合や、領域内に置かれていた物が持ち去られた場合などに、アラームが発生します。
  ※置き去り／持ち去りを検出させるためには、背景を約2分間、学習させておく必要があります。スケジュールによって検知条件が切り替わり、カメラのポジションも移動するような場合、ポジションが切り替わってから約2分間は置き去り／持ち去り検知が正常に動作しませんので注意してください。
- 「□（黒）」はAVMDを動作させたくない領域を設定するときに選択します。
  設定した領域では、移動物体の検出も行われません。

②「描画種別」の「四角形描画」または「多角形描画」のアイコンをクリックして、描画する枠の形を選択します。

（四角形描画）：検知領域を四角形で描画します。

（多角形描画）：検知領域を多角形（最大16角形）で描画します。

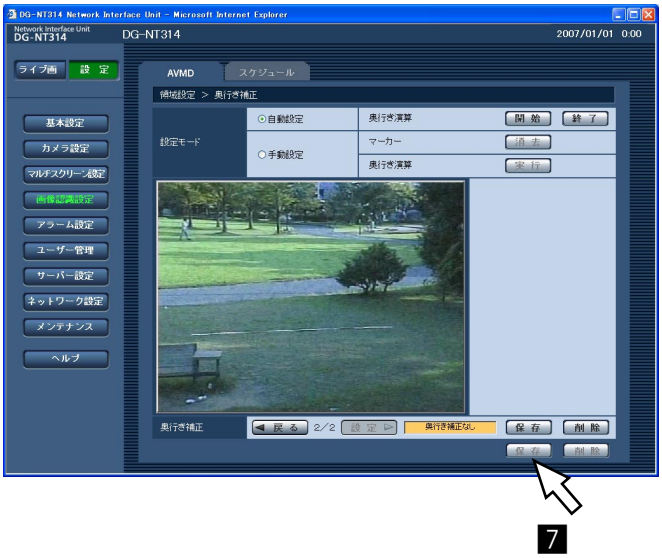
③「四角形描画」の場合は、画像上でマウスをドラッグして四角形の領域を設定します。
「多角形描画」の場合は、画像上で頂点を指定して多角形の領域を設定します（終点を始点と結ぶことによって、領域を描画します）。

✎メモ✎
- 枠を消去するときは、「描画選択」のアイコン をクリックし、マウスで画像上の検知領域を選択してから［消去］ボタンをクリックします。

④領域をすべて設定したら、検出を行いたい領域の［有効］にチェックを入れます。

!!重要!!
- 領域を設定しても「有効」にチェックをしないとアラームは発生しません。

6 検知領域の設定が終了したら、奥行き補正を行います。
［▶設定］ボタンをクリックすると、奥行き補正画面が表示され、奥行き補正の設定を行うことができます。（☞33ページ）



7 検知条件の設定が終了したら、［保存］ボタンをクリックします。

奥行きを設定する

検知条件ごとに奥行き情報を設定できます。奥行きは自動または手動で設定できます。

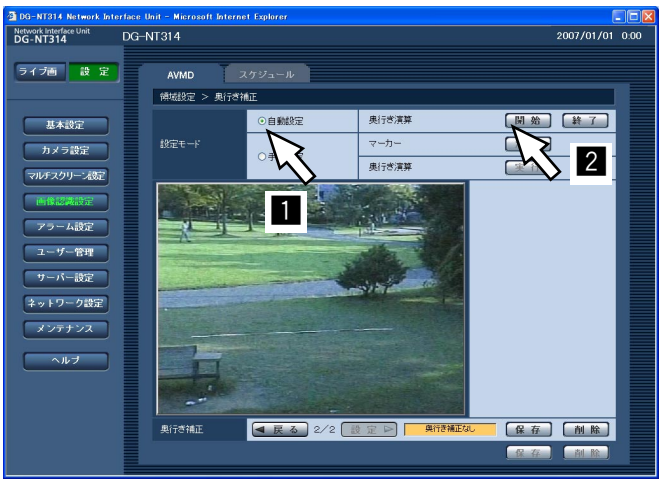
●奥行きを自動で設定する　☞33ページ
●奥行きを手動で設定する　☞34ページ

奥行きを自動で設定する

✎メモ✎

●奥行きを自動で設定する場合は、検知条件の映像内で人が手前と奥の間を往復しながら設定する必要があります。

1 奥行き補正画面の「設定モード」で「自動設定」を選択します。



2 「奥行き演算」の［開始］ボタンをクリックします。

3 設定したCHおよびプリセットポジションの画像内で、手前と奥の間を往復します。
→演算結果が画像上に3D表示されます。
演算結果は1秒ごとに更新されます。

4 十分な精度の奥行きを計算できたところで（3D表示が安定したところで）、［終了］ボタンをクリックします。

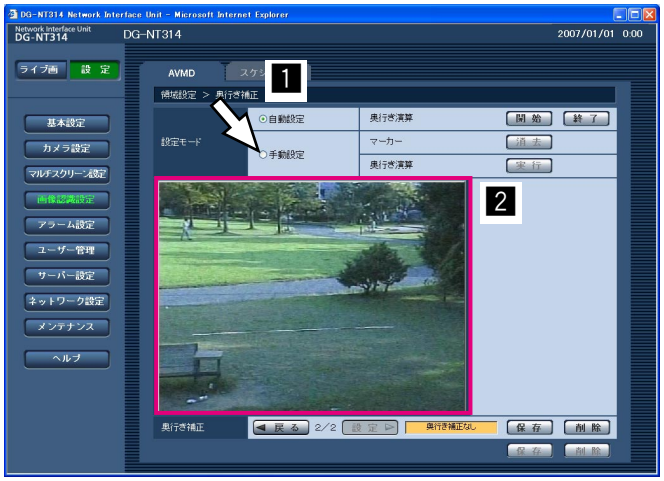
5 奥行きの設定が終了したら［保存］ボタンをクリックします。
→領域設定画面に戻ります。

✎メモ✎

● ［戻る］ボタンを押すと、奥行きの設定を行わずに領域設定画面に戻ります。

奥行きを手動で設定する

1 奥行き補正画面の「設定モード」で「手動設定」を選択します。



2 画像上の手前と奥の位置に、それぞれマウスをドラッグし、マーカーを描きます。

メモ

- マウスを上下に動かすと、マーカーが拡大・縮小します（マーカーの縦横比は3：1固定です）。
- マーカーを描き直したいときは、「マーカー」の［消去］ボタンをクリックします。
- 通常、人が手前側（画面下側）と奥側（画面上側）の間を移動することを想定し、マーカーを手前側は大きく、奥側を小さく設定すると、正常な奥行きを求めることができます。

3 マーカーを描いたら、「奥行き演算」の［実行］ボタンをクリックします。
→演算結果が画像上に3D表示されます。

4 奥行きの設定が終了したら［保存］ボタンをクリックします。
→領域設定画面に戻ります。

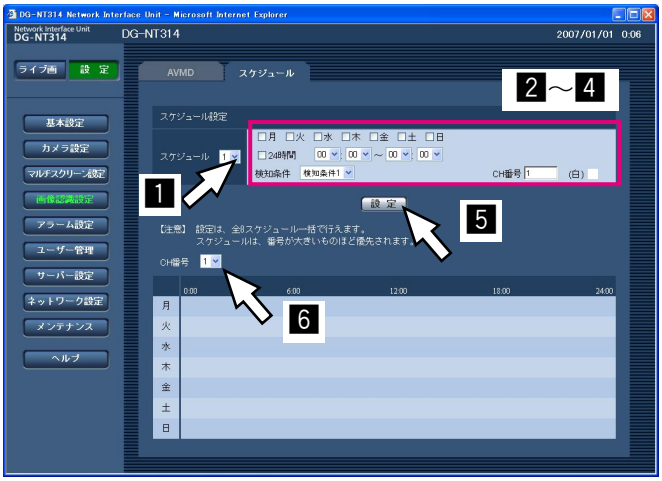
メモ

- ［戻る］ボタンを押すと、奥行きの設定を行わずに領域設定画面に戻ります。

AVMDスケジュールを設定する［スケジュール］

画像認識設定ページの［スケジュール］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
検知条件ごとにスケジュールを設定できます。
例えば、入口と出口を監視する場合に、入り口に設定した検知条件は月曜日～金曜日の午前6時～12時まで、出口に設定した検知条件は月曜日～金曜日の午後4時～12時までというように設定できます。

スケジュールの設定のしかた



1 「スケジュール」の［⋁］をクリックして設定するスケジュールの番号を「1」～「8」から選択します。

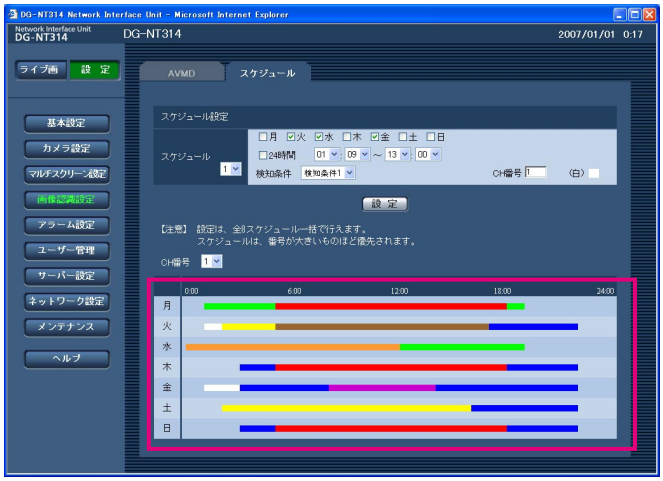
2 スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→曜日が有効になります。

3 時間を指定するときは、「時」「分」の横の［⋁］をクリックして、時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24時間」にチェックを入れます。
設定可能範囲：00:00～23:59

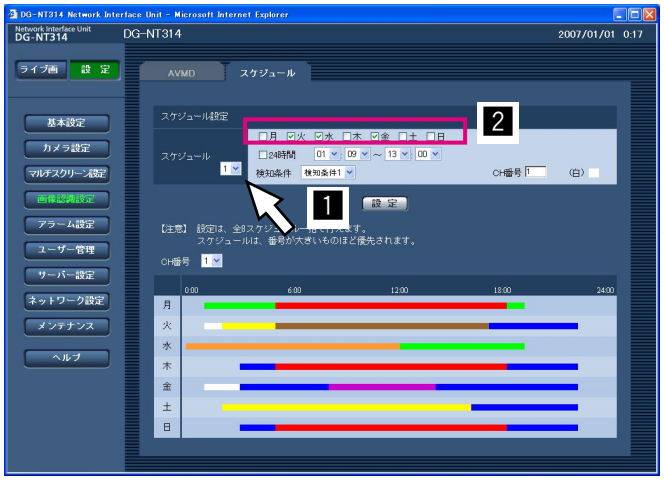
4 「検知条件」から検知条件を選択します。
→「CH番号」に、選択した検知条件に設定されているCH番号が表示されます。

5 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

6 設定したスケジュールをタイムバー上で確認する場合は、［CH番号］の［⋁］をクリックしてCH番号（検知条件）を選択します。
→選択したCH番号が設定されている検知条件のスケジュールがタイムバー上に表示されます。タイムバーの色は、検知条件によって決まっています。
色は、「CH番号」の右側に表示されます。



スケジュールの削除のしかた

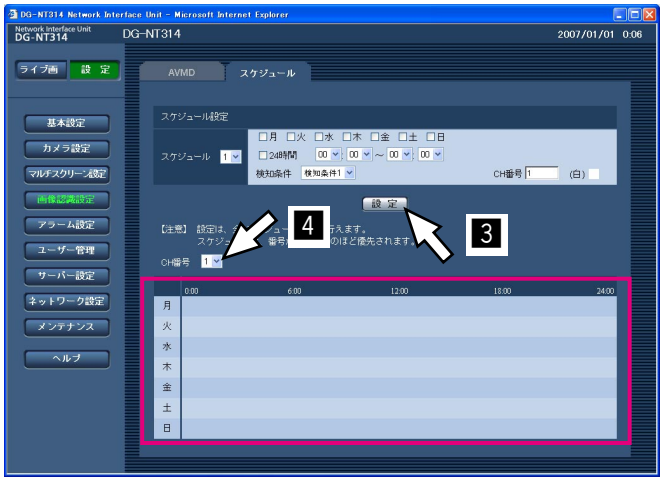


1 「スケジュール」の［⋁］をクリックして設定するスケジュールの番号を「1」～「8」から選択します。

2 削除するスケジュールの曜日ボックスのチェックをはずします。

3 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

4 「CH番号」の［⋁］をクリックしてスケジュールを削除したCH番号を選択すると、スケジュールの削除を確認できます。



アラームの設定を行う［アラーム設定］

アラーム設定ページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラーム通知、XML通知に関する設定を行います。
アラーム設定ページは、［アラーム］タブ、［通知］タブ、［XML通知］タブで構成されています。

アラーム動作に関する設定を行う［アラーム］

アラーム設定ページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。アラーム画像、アラーム出力端子に関する設定については、39、40ページをお読みください。

■アラーム設定

［AVMD（CH1）］～［AVMD（CH4）］

設定したAVMD（検知条件）を有効にします。有効にできるのは2CHまでです。
2CH分が有効になると、他のCHの設定はグレーアウトされます。
選択できる項目は、以下のとおりです。

OFF ：AVMDは無効になります。
検知条件（最大8件）
：選択した検知条件でAVMDが有効になります。
スケジュール
：スケジュール画面で設定したスケジュールどおりに検知条件が切り換わり、AVMDが動作します。

AVMDを有効にした場合は、「動作対象CH」、「プリセット番号」、「自動モード」でアラーム発生時のイベントを設定できます。
お買い上げ時の設定：OFF

●動作対象CH

CH1～4のAVMDを検出したときに、プリセット移動および自動追尾させるカメラをCH1～CH4から選択します。

✎**メモ**✎
●AVMDを有効にしているCHは設定できません。

●プリセット番号

プリセット番号を指定すると、CH1～4のAVMDを検出したときに、設定した動作対象CHのカメラ入力端子に接続されたカメラの向きを移動させることができます。
設定可能範囲：空欄、1～256
お買い上げ時の設定：空欄

●自動モード

CH1～4のAVMDを検出したときに、設定した動作対象CHのカメラ入力端子に接続されたカメラに対して、以下の自動モードの動作をさせることができます。プリセット番号を設定している場合は、プリセット移動したあとに動作が開始します。

自動追従：カメラが自動追従（AUTO TRACK）に対応している場合、自動追従を行います。
－ ：動作しません。

お買い上げ時の設定：－

［端子アラーム1］～［端子アラーム4］

端子アラーム1～4の入力（アラーム入力端子No.1～No.4への入力）No.1～No.4を受け付けるかどうかをON／OFFで設定します。

ON ：アラーム入力を受け付けます。
OFF ：アラーム入力を受け付けません。

お買い上げ時の設定：OFF

（次ページへ続く）

「ON」に設定した場合、プリセット番号を指定すると、端子アラーム1～4を検出したときに、CH1～4のカメラ入力端子に接続されたカメラの向きを移動させることができます。
設定可能範囲：空欄、1～256
お買い上げ時の設定：空欄

[カメラサイトアラーム（CH1）]～[カメラサイトアラーム（CH4）]
CH1～4のカメラ入力端子に接続されたカメラから、カメラサイトアラームの入力を受け付けるかどうかをON／OFFで設定します。
ON　：アラーム入力を受け付けます。
OFF　：アラーム入力を受け付けません。
お買い上げ時の設定：OFF

「ON」に設定した場合、プリセット番号を指定すると、CH1～4のカメラサイトアラームを検出したときに、CH1～4のカメラ入力端子に接続されたカメラの向きを移動させることができます。
設定可能範囲：空欄、1～256
お買い上げ時の設定：空欄

✎**メモ**✎
- WV-CW970をご使用の場合、自動追従中にカメラサイトアラームを連続的に発生させることによって、独自アラーム通知を送信し続けることができます。
  自動追従中にカメラサイトアラームを発生させる設定については、WV-CW970に付属の取扱説明書をお読みください。

[ビデオロス（CH1）]～[ビデオロス（CH4）]
CH1～4のカメラ入力端子に接続されたカメラについて、ビデオロスの検出を受け付けるかどうかをON／OFFで設定します。
ON　：ビデオロス検出を受け付けます。
OFF　：ビデオロス検出を受け付けません。
お買い上げ時の設定：OFF

[コマンドアラーム]
コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをON/OFFで設定します。
ON　：アラーム入力を受け付けます。
OFF　：アラーム入力を受け付けません。
お買い上げ時の設定：OFF

コマンドアラームとは、他の自社製ネットワーク機器からの独自アラーム通知を受信することによって、複数のネットワーク機器で連動してアラーム動作を行うことができる機能です。「ON」に設定した場合、コマンドアラームを検出したときに、設定したCHにおいてアラーム画像送信やアラーム出力を行うことができます（「—」に設定した場合、アラーム画像送信やアラーム出力は動作しません）。
設定可能範囲：—、CH1～CH4
お買い上げ時の設定：CH1
また、「ON」に設定した場合、プリセット番号を指定すると、コマンドアラームを検出したときに、設定した動作対象CHのカメラ入力端子に接続されたカメラの向きを移動させることができます。
設定可能範囲：空欄、1～256
お買い上げ時の設定：空欄

[受信ポート番号]
コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。
設定可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：8181

アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］

アラーム設定ページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像に関する設定を行います。アラーム画像は、FTPサーバーへ送信されます。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。（☞48ページ）
アラーム動作、アラーム出力端子に関する設定については、37、40ページをお読みください。

!!重要!!
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- 送信する画像は、［JPEG/MPEG-4］タブの「JPEG設定」で設定した解像度および画質になります。（☞24ページ）

■アラーム画像設定

［FTP設定へ］
クリックするとサーバー設定ページの［FTP］タブが表示されます。（☞48ページ）

［アラーム画像送信］
アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

✎メモ✎
- 「アラーム画像送信」を「ON」に設定すると、使用していないCHや、カメラが接続されていないCHにアラームが発生したときは、黒画が送信されます。

［ディレクトリー名］
画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。
入力可能文字数：0～256文字
お買い上げ時の設定：空欄

［ファイル名］
FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
入力可能文字数：1～8文字
お買い上げ時の設定：空欄

［ポストアラーム］

●画像更新速度
アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。
0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps
お買い上げ時の設定：1 fps

●画像枚数
送信する画像の枚数を以下から選択します。
1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚／7枚／8枚／9枚／10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1 000枚／2 000枚／3 000枚／5 000枚
お買い上げ時の設定：100枚

●録画時間
設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

アラーム出力端子に関する設定を行う［アラーム］

アラーム設定ページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、アラーム出力端子No.1～No.4に関する設定を行います。アラーム出力端子No.1～No.4は、CH1～4のアラーム入力にそれぞれ対応します。アラーム動作、アラーム画像に関する設定については、37、39ページをお読みください。

■アラーム出力端子設定

設定を行うアラーム出力端子の番号を選択し、以下の項目を設定します。

［アラーム出力連動設定］
アラームを検出したときに、アラーム出力端子にアラーム信号を出力するかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

［アラーム出力端子］
アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を、ラッチ／パルスのどちらかに設定します。
ラッチ　：アラームを検出したとき、［アラーム発生通知］ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム出力」で設定した状態になります。
パルス　：アラームを検出したとき、「アラーム出力時間」で設定した時間、アラーム出力時の端子が「アラーム出力」で設定した状態になります。
お買い上げ時の設定：ラッチ

［アラーム出力］
アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態をOPEN／CLOSEで設定します。
OPEN　：アラーム出力時の端子をOPEN状態にします（通常はCLOSE）。
CLOSE　：アラーム出力時の端子をCLOSE状態にします（通常はOPEN）。
お買い上げ時の設定：CLOSE

✎メモ✎
- 「OPEN」に設定すると、本機の電源を入れたときなどに、約90秒間アラームが出力されます。

［アラーム出力時間］
「アラーム出力端子」で「パルス」を選択した場合に、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を設定します。
設定可能範囲：1～120秒
お買い上げ時の設定：1秒

■AUX名称

ライブ画ページの「AUX」、「OPEN」、「CLOSE」の名称を変更できます。

［AUX（10文字まで）］
ライブ画ページの「AUX」ボタンの名称を入力します。
入力可能文字数：1～10文字
お買い上げ時の設定：AUX

［OPEN（5文字まで）］
ライブ画ページの［AUX］ボタンの「OPEN」の名称を入力します。
入力可能文字数：1～5文字
お買い上げ時の設定：OPEN

［CLOSE（5文字まで）］
ライブ画ページの［AUX］ボタンの「CLOSE」の名称を入力します。
入力可能文字数：1～5文字
お買い上げ時の設定：CLOSE

メール通知に関する設定を行う［通知］

アラーム設定ページの［通知］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
ここでは、アラームメールに関する設定を行います。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。(☞47ページ)

■メール通知設定

［メール設定へ］
クリックすると、サーバー設定ページの［メール］タブが表示されます。(☞47ページ)

［メール通知］
アラームを検出したときにメール通知を行うかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

■メール通知先設定

［メール通知先1］～［メール通知先4］
通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。
アラーム発生時にメール通知するときは、設定したメールアドレスの「アラーム」欄にチェックを入れます。
設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの［削除］ボタンをクリックします。
入力可能文字数：3～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

［メール件名］
アラームメールの件名を入力します。
入力可能文字数：0～50文字
お買い上げ時の設定：空欄

［メール本文］
アラームメールの本文を入力します。
入力可能文字数：0～200文字
お買い上げ時の設定：空欄

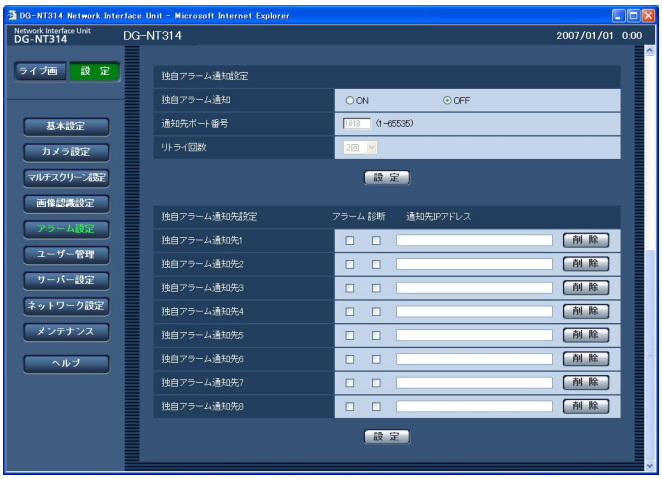
✎メモ✎

- 「%p%」と入力すると、発生したアラームの種類とCHの情報を送信できます。
- 以下の内容を入力するとアラームが発生した年月日、時間のいずれかのみを送信できます。
  - %y%　：アラームが発生した年を送信
  - %m%　：アラームが発生した月を送信
  - %d%　：アラームが発生した日を送信
  - %t%　：アラームが発生した時間を送信

  なお、空欄のままにしている場合は、アラームが発生した年月日および時間の情報が送信されます。

独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］

アラーム設定ページの［通知］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、独自アラームに関する設定を行います。



■独自アラーム通知設定

［独自アラーム通知］
アラームを検出したときに、独自アラーム通知を行うかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

✎**メモ**✎
- 独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

［通知先ポート番号］
独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。
設定可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：1818

［リトライ回数］
独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。
設定可能範囲：1～30回
お買い上げ時の設定：2回

■独自アラーム通知先設定

［独自アラーム通知先1］～［独自アラーム通知先8］
独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。ホスト名での指定はできません。通知先は8件まで設定できます。
お買い上げ時の設定：空欄

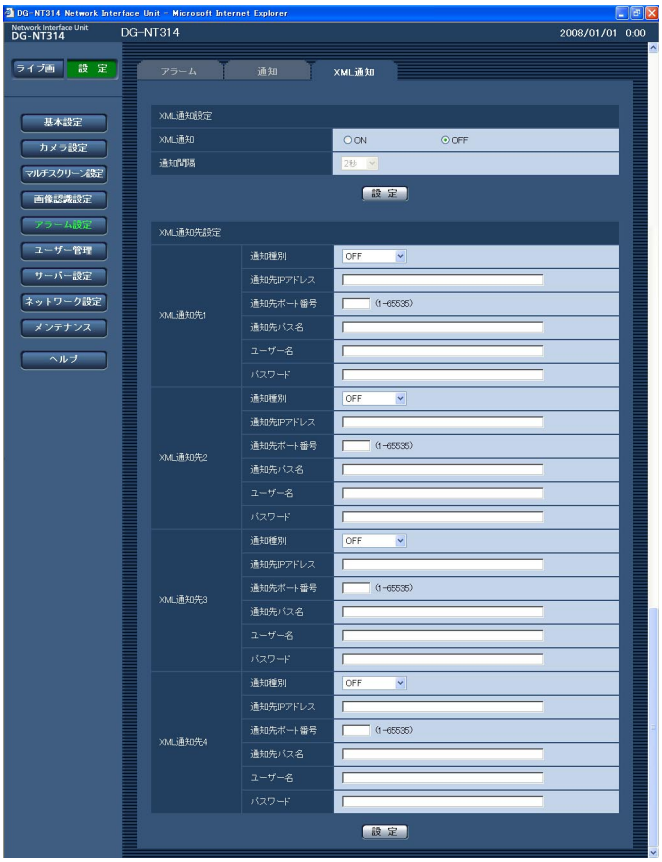
＜IPアドレス設定不可値＞
- 0.*.*.*
- *.*.*.0
- 255.*.*.*
- *.*.*.255
- 127.0.0.1
- クラスDアドレス
  （224.0.0.0 ～239.255.255.255）
- クラスEアドレス
  （240.0.0.0 ～255.255.255.255）

アラーム発生時に、設定した通知先に通知するときは、「アラーム」欄にチェックを入れます。
SDメモリーカードの残容量通知（☞20ページ）を行うとき、SDメモリーカードの空き容量がなくなったとき、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときに通知するときは、設定した通知先の「診断」欄にチェックを入れます。
設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の［削除］ボタンをクリックします。

!!重要!!
- 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知が遅延することがあります。
- 本機やネットワークの状態によっては、独自アラーム通知が遅延することがあります。
  ネットワークディスクレコーダーでイベント録画を行う場合は、プレ録画を設定することをおすすめします。

XML通知に関する設定を行う［XML通知］

アラーム設定ページの［XML通知］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、XML通知に関する設定を行います。XML通知とは、AVMD情報をXML形式でサーバーなどに通知する機能です。
XML通知を行うには、AVMDの設定が必要です。（☞31、37ページ）



■XML通知設定

［XML通知］
AVMD情報のXML通知を行うかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

［通知間隔］
XML通知を行う間隔を以下から選択します。
0.5秒／2秒／10秒
お買い上げ時の設定：2秒

!!重要!!
- 「10秒」に設定した場合、画像や音声を同時に配信していると、XML通知時に画像や音声の配信が一時的に止まる場合があります。そのため、画像や音声を同時に配信する場合は、「0.5秒」または「2秒」に設定することをおすすめします。

■XML通知先設定

［XML通知先1］～［XML通知先4］
通知先のIPアドレスなどを設定します。
通知先は4件まで設定できます。

●通知種別
XML通知を行うときの形式を以下から選択します。
OFF　：XML通知を行いません。
HTTP　：HTTP形式でXML通知を行います。
HTTP/SOAP：HTTPによるSOAP形式でXML通知を行います。
UDP　：UDP形式でXML通知を行います。
お買い上げ時の設定：OFF

●通知先IPアドレス
XML通知先のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

●通知先ポート番号
XML通知先の受信ポート番号を設定します。
設定可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：空欄

●通知先パス名
通知先のパス名を入力します。
入力可能文字数：0～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

●ユーザー名
通知先へアクセスするためのユーザー名を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

●パスワード
通知先へアクセスするためのパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

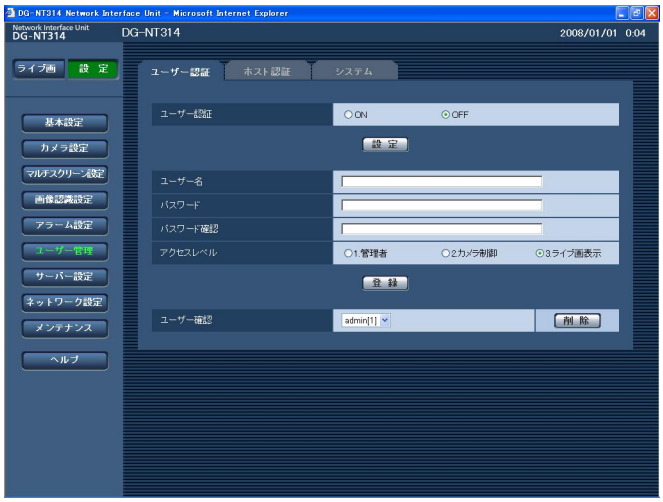
ユーザー管理を行う［ユーザー管理］

ユーザー管理ページでは、PCから本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。また、VMD情報／AVMD情報を画像に付加するかどうかの設定も行います。
ユーザー管理ページは、［ユーザー認証］タブ、［ホスト認証］タブ、［システム］タブで構成されています。

ユーザー認証に関する設定を行う［ユーザー認証］

ユーザー管理ページの［ユーザー認証］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、PCから本機にアクセスできるユーザーを制限する認証登録を行います。最大16ユーザーまで登録できます。

✎**メモ**✎
- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回（起動元のウェブブラウザーから［移動］ボタンでアクセスした場合は6回）以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。



［ユーザー認証］
ユーザー認証を行うかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

［ユーザー名］
ユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［パスワード］［パスワード確認］
パスワードを入力します。
入力可能文字数：4～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

✎**メモ**✎
- 登録済みのユーザー名を入力し［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。たとえば、ユーザー名を「admin」、アクセスレベルを「1.管理者」で、パスワードを任意の値に設定し登録することで、Adminユーザーのパスワードを変更できます。

［アクセスレベル］
アクセスレベルを以下から選択します。

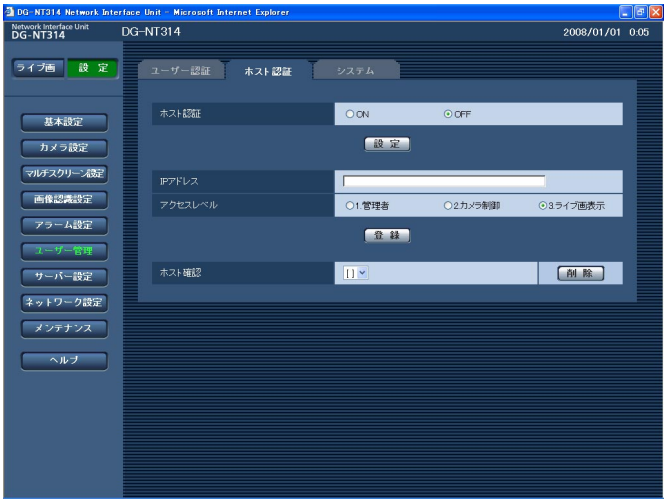
1.管理者	：本機のすべての操作を行うことができます。
2.カメラ制御	：画像表示、本機の操作を行うことができます。本機の設定はできません。
3.ライブ画表示	：画像表示のみ行うことができます。本機の操作、設定はできません。

お買い上げ時の設定：3.ライブ画表示

✎**メモ**✎
- 「ユーザー確認」の［∨］をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。
  ユーザーは、「登録したユーザー名［アクセスレベル］」で表示されます。
  右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

ホスト認証に関する設定を行う［ホスト認証］

ユーザー管理ページの［ホスト認証］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。最大8つまでのIPアドレスを登録できます。



［ホスト認証］
ホスト認証を行うかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

!!重要!!
- ホスト認証を「ON」に設定する前に、アクセスを許可するPCのIPアドレスとアクセスレベルを登録してください。

［IPアドレス］
本機へのアクセスを許可するIPアドレスを入力します。
ホスト名での指定はできません。
お買い上げ時の設定：空欄

✎メモ✎
- 「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
  例えば「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、192.168.0.0～192.168.0.255のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機にアクセスできるようになります。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

［アクセスレベル］
アクセスレベルを以下から選択します。
1.管理者／2.カメラ制御／3.ライブ画表示
アクセスレベルについて詳しくは、44ページをお読みください。
お買い上げ時の設定：3.ライブ画表示

✎メモ✎
- 「ホスト確認」の［⋁］をクリックすると、登録されているIPアドレスを確認できます。
  ホストは、「登録したIPアドレス［アクセスレベル］」で表示されます。
  右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したIPアドレスを削除できます。

システムに関する設定を行う［システム］

ユーザー管理ページの［システム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、AVMD情報およびVMD情報の付加に関する設定を行います。

■AVMD情報付加

［情報付加］
AVMD情報を画像に付加するかどうかをON／OFFで設定します。

✎メモ✎

- 付加するAVMD情報は、アラーム設定ページの［アラーム］タブの［AVMD(CH1)］～［AVMD(CH4)］が、いずれかのCHで設定されている場合に作成され、付加されます。
  ［AVMD(CH1)］～［AVMD(CH4)］がすべて「OFF」に設定されている場合、AVMD情報の「情報付加」の設定に関わらずAVMD情報は付加されません。（☞31、37ページ）
- AVMDが設定されていない場合は、AVMD情報の「情報付加」はグレーアウトとなり、設定できません。
- 「OFF」にすると、枠や軌跡は画面に表示されなくなります（アラーム動作には影響ありません）。

■VMD情報付加

［情報付加］
VMD情報を画像に付加するかどうかをON／OFFで設定します。

✎メモ✎

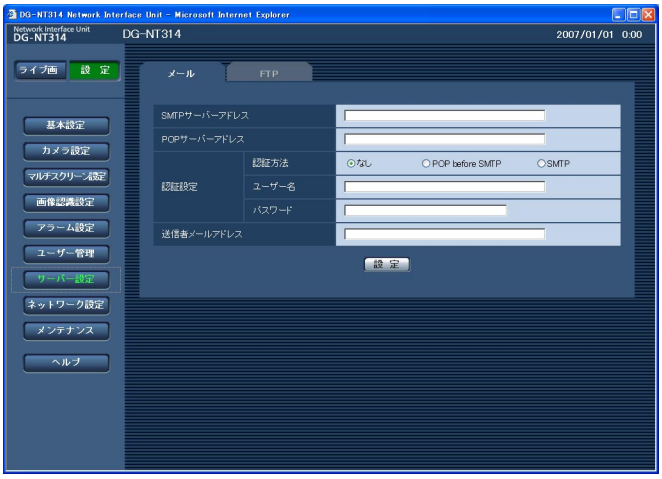
- 付加するVMD情報は、アラーム設定ページの［アラーム］タブの［AVMD(CH1)］～［AVMD(CH4)］が、いずれかのCHで設定されている場合に作成され、付加されます。
  ［AVMD(CH1)］～［AVMD(CH4)］がすべて「OFF」に設定されている場合、VMD情報の「情報付加」の設定に関わらずVMD情報は付加されません。（☞31、37ページ）
- AVMDが設定されていない場合は、VMD情報の「情報付加」はグレーアウトとなり、設定できません。
- VMD情報は、弊社製ネットワークディスクレコーダー（DG-ND400）の検索機能に使用することができます。詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
  ※VMD情報付加のON／OFFは、枠や軌跡の表示には影響ありません。

サーバーの設定を行う［サーバー設定］

サーバー設定ページでは、メールサーバーとFTPサーバーの設定を行います。
サーバー設定ページは、［メール］タブと［FTP］タブで構成されています。

メールサーバーに関する設定を行う［メール］

サーバー設定ページの［メール］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、アラームメールを送信するときのメールサーバーに関する設定を行います。



［SMTPサーバーアドレス］※
電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

［POPサーバーアドレス］※
「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

※ !! 重要 !!
- サーバーのホスト名を入力した場合は、ネットワーク設定ページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞50ページ）

［認証方法］
メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

なし	：認証しません。
POP before SMTP	：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行う場合に選択します。
SMTP	：SMTPサーバーで認証を行う場合に選択します。

お買い上げ時の設定：なし

✎メモ✎
- 認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

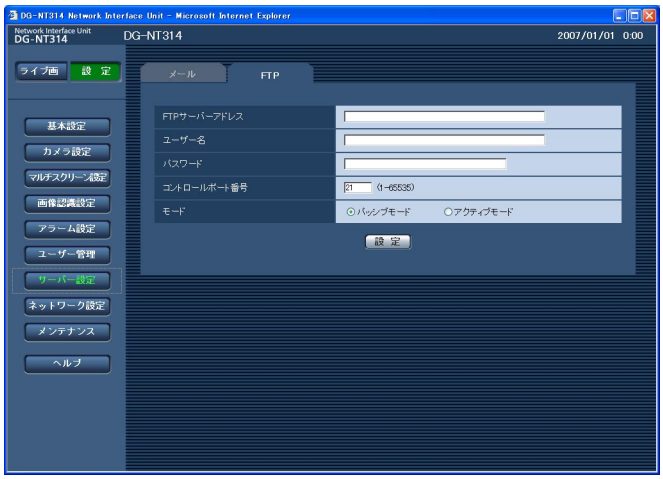
［ユーザー名］
サーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［パスワード］
サーバーへアクセスするためパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［送信者メールアドレス］
送信元のメールアドレスを入力します。
入力したメールアドレスが、メール受信者の「From（差出人）」欄に表示されます。
入力可能文字数：3～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

FTPサーバーに関する設定を行う［FTP］

サーバー設定ページの［FTP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、画像を送信するときのFTPサーバーに関する設定を行います。



［FTPサーバーアドレス］
FTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～128文字
お買い上げ時の設定：空欄

> ***!!重要!!***
> ●FTPサーバーのホスト名を入力した場合は、ネットワーク設定ページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞50ページ）

［ユーザー名］
FTPサーバーにログインするためのユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［パスワード］
FTPサーバーにログインするためのパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［コントロールポート番号］
FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
入力可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：21

［モード］
画像を送信するときのモードをパッシブモード／アクティブモードのどちらかに設定します。
通常は「パッシブモード」に設定し、接続できないときは「アクティブモード」に切り換えてください。
お買い上げ時の設定：パッシブモード

ネットワークの設定を行う［ネットワーク設定］

ネットワーク設定ページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic DNS）機能に関する設定を行います。
ネットワーク設定ページは、［ネットワーク］タブ、［DDNS］タブ、［SNMP］タブ、［FTP定期］タブで構成されています。

ネットワークに関する設定を行う［ネットワーク］

ネットワーク設定ページの［ネットワーク］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
本機のネットワーク設定を行うには、以下の情報が必要になります。
ネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート番号
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

■ネットワーク設定

[DHCP]
DHCP機能を使用するかどうかを、ON／OFFで設定します。
DHCP機能を使用しないPCや他のネットワークカメラと同じIPアドレスが割り当てられないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
お買い上げ時の設定：OFF

[IPアドレス]
DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。ただし、PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定しないでください。
お買い上げ時の設定：192.168.0.10

＜IPアドレス設定不可値＞
- 0.*.*.*
- *.*.*.0
- 255.*.*.*
- *.*.*.255
- 127.0.0.1
- クラスDアドレス
  （224.0.0.0 ～239.255.255.255）
- クラスEアドレス
  （240.0.0.0 ～255.255.255.255）

※上記のIPアドレスは、DHCP機能を使用した場合も設定できません。DHCPサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[サブネットマスク]
DHCP機能を使用しない場合は、本機のサブネットマスクを入力します。
お買い上げ時の設定：255.255.255.0

（次ページへ続く）

[デフォルトゲートウェイ]
DHCP機能を使用しない場合は、本機のデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
お買い上げ時の設定：192.168.0.1

＜デフォルトゲートウェイ設定不可値＞
・0.*.*.*
・*.*.*.0
・255.*.*.*
・*.*.*.255
・127.0.0.1
・クラスD アドレス
（224.0.0.0 ～239.255.255.255）
・クラスE アドレス
（240.0.0.0 ～255.255.255.255）
※上記のデフォルトゲートウェイアドレスは、DHCP機能を使用した場合も設定できません。DHCPサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[HTTPポート番号]
HTTPポート番号を個別に設定します。
入力可能範囲：1～65535
お買い上げ時の設定：80

[DNS]
DNSサーバーを使用するかどうかをAUTO／MANUALで設定します。「MANUAL」に設定した場合はDNSサーバーに関する設定が必要です。
DHCP機能を使用する場合は、「AUTO」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得することができます。設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
お買い上げ時の設定：MANUAL

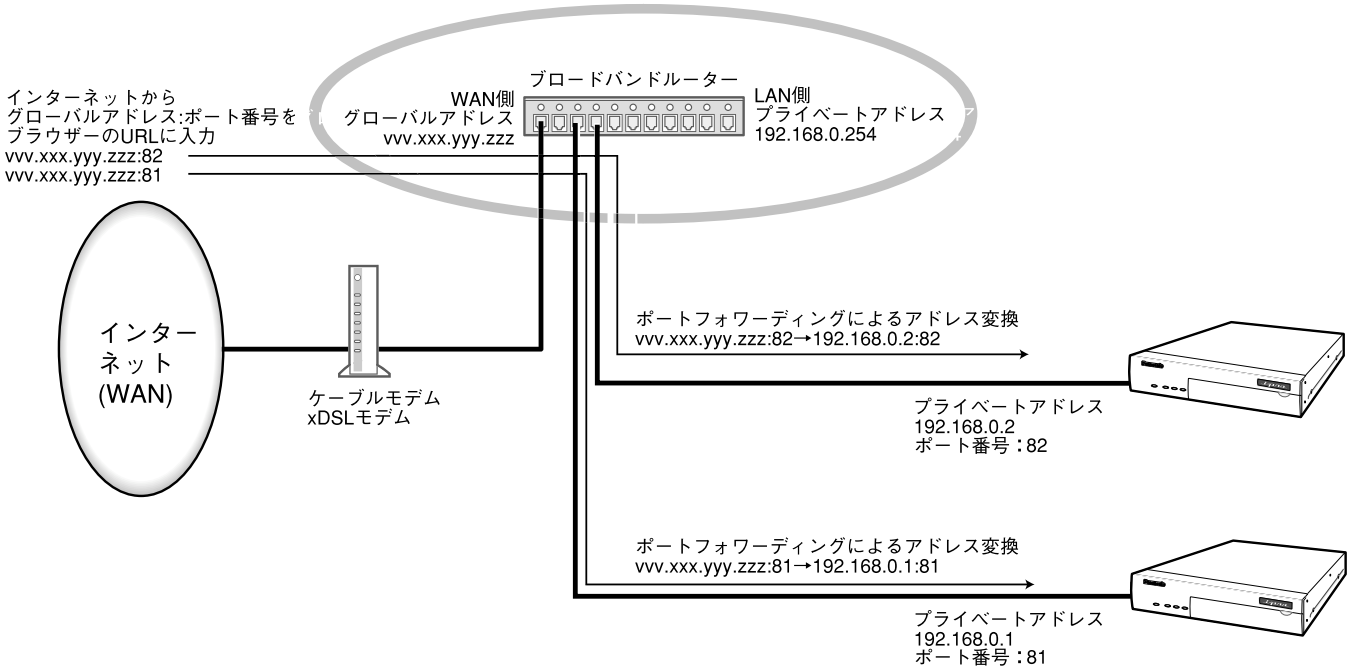
[プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス]
「DNS」を「MANUAL」で使用する場合は、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。DNSサーバーのIPアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
お買い上げ時の設定：空欄

[通信速度]
データの通信速度を以下から選択します。お買い上げ時の設定の「AUTO」のままご使用することをおすすめします。
AUTO ：自動設定します。
100M-FULL ：100 Mbps全二重に設定します。
100M-HALF ：100 Mbps半二重に設定します。
10M-FULL ：10 Mbps全二重に設定します。
10M-HALF ：10 Mbps半二重に設定します。
お買い上げ時の設定：AUTO

[本機へのFTPアクセス]
本機へのFTPアクセスの許可／禁止を設定します。
お買い上げ時の設定：禁止

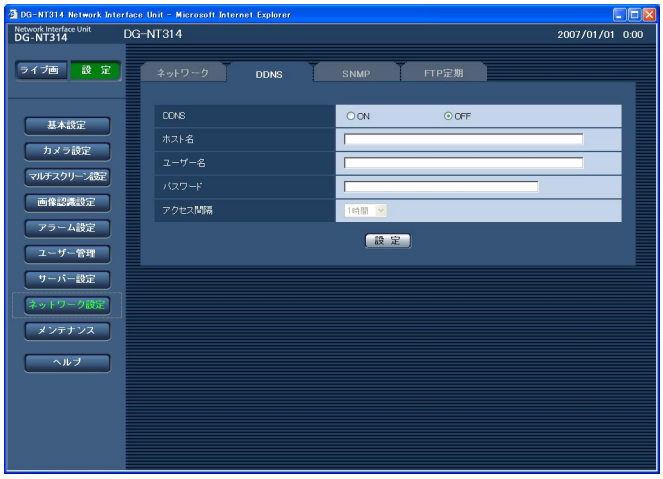
✎メモ✎

- ブロードバンドルーターに本機を接続してインターネット経由で本機と接続するには、機器ごとに個別のポート番号を設定し、ポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ご使用になるブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、静的IPマスカレードまたはNATアドレス変換などがあります。これらの機能はルーターに設定します。



DDNSに関する設定を行う［DDNS］

ネットワーク設定ページの［DDNS］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、DDNS機能に関する設定を行います。
グローバルIPアドレスをDHCPで取得している環境で本機にインターネット経由でアクセスする場合、DDNS機能が必要です。
DDNS機能を使用すると、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net 」でアクセスできるようになります。サービスを受けるには専用サーバーとの接続が必要です。DDNSのサービスについては、ホームページを参照してください。ホームページのアドレスはReadmeをお読みください。
あらかじめ、DDNSサーバーに登録したホスト名、ユーザー名、パスワードを設定しておきます。



［DDNS］
DDNS機能を使用するかどうかをON／OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：OFF

［ホスト名］
使用するホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～64文字
お買い上げ時の設定：空欄

［ユーザー名］
DDNSサーバーにログインするためのユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

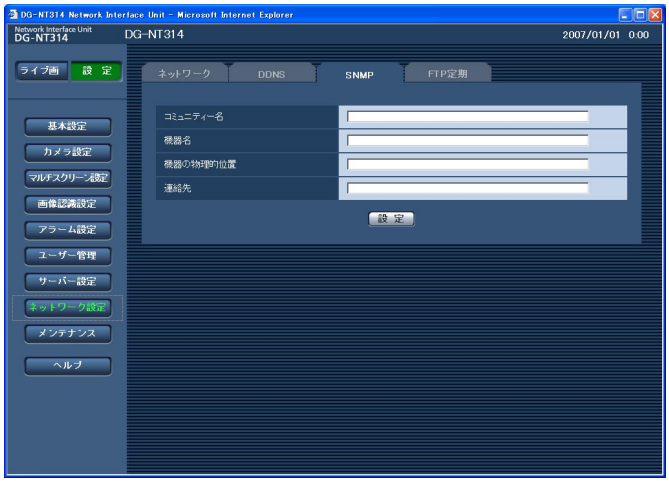
［パスワード］
DDNSサーバーにログインするためのパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［アクセス間隔］
DDNSサーバーに対してIPアドレスとホスト名の確認を行う間隔を以下から選択します。
1分／10分／30分／1時間／6時間／24時間
お買い上げ時の設定：1時間

✎メモ✎
- 「1分」に設定した場合、サーバーからの応答により、システムログにエラーメッセージが残る場合がありますが（☞56ページ）、動作には影響ありません。

SNMPに関する設定を行う［SNMP］

ネットワーク設定ページの［SNMP］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーと接続することにより、本機の状態を確認することができます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。



［コミュニティー名］
監視の対象となるコミュニティー名を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

> **!!重要!!**
> ● SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。コミュニティー名が空欄の場合、SNMP機能が動作しません。

［機器名］
本機をSNMP機能を使って管理するための名前を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［機器の物理的位置］
本機の設定場所を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
お買い上げ時の設定：空欄

［連絡先］
管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。
入力可能文字数：0～255文字
お買い上げ時の設定：空欄

> **メモ**
> ● 「" "」は空白扱いになります。
> ● 設定内容が反映されるまで約30秒かかります。

FTP定期送信に関する設定を行う［FTP定期］

ネットワーク設定ページの［FTP定期］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です（☞48ページ）。画像を送信する場合のスケジュールの設定については、55ページをお読みください。

!!重要!!

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。
- 送信する画像は、［JPEG/MPEG-4］タブの「JPEG設定」で設定した解像度および画質になります。（☞24ページ）

■FTP定期送信設定

［FTP設定へ］
クリックするとサーバー設定ページの［FTP］タブが表示されます。（☞48ページ）

［定期送信設定］
FTP定期送信を行うかどうかをON／OFFで設定します。「ON」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。（☞48ページ）
FTPサーバーには、使用CHの画像が送信されます。（☞23ページ）
お買い上げ時の設定：OFF

［ディレクトリー名］
送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。
入力可能文字数：0～256文字
お買い上げ時の設定：空欄

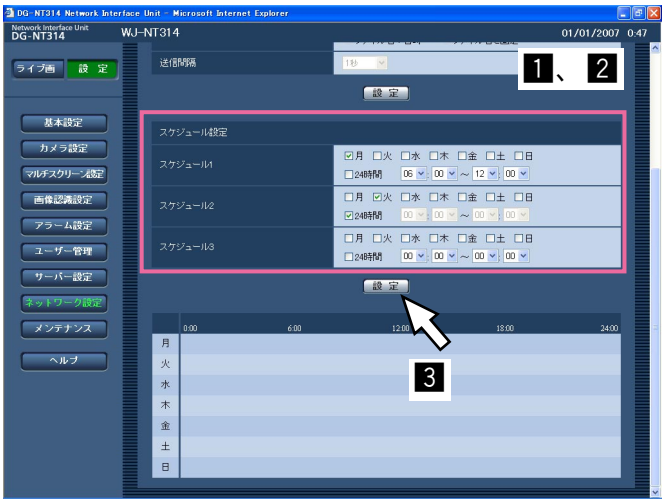
［ファイル名］
送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。
ファイル名＋日時：「入力したファイル名＋CH番号＋送信日時（年月日時分秒）＋連続番号（通常は00）」をファイル名として使用します。
ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。
入力可能文字数：1～8文字
お買い上げ時の設定：空欄

［送信間隔］
送信間隔を以下から選択します。
1秒／2秒／3秒／4秒／5秒／6秒／10秒／15秒／20秒／30秒／1分／2分／3分／4分／5分／6分／10分／15分／20分／30分／1時間／1.5時間／2時間／3時間／4時間／6時間／12時間／24時間
お買い上げ時の設定：5秒

FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］

ネットワーク設定ページの［FTP定期］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合のスケジュールを設定します。定期送信に関する設定については、54ページをお読みください。

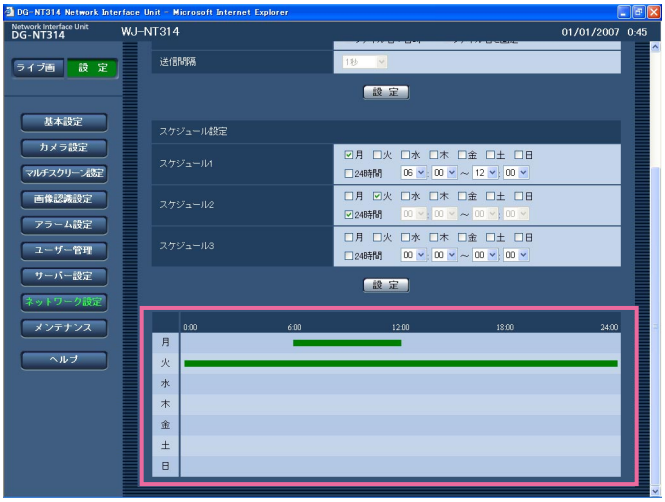
スケジュールの設定のしかた



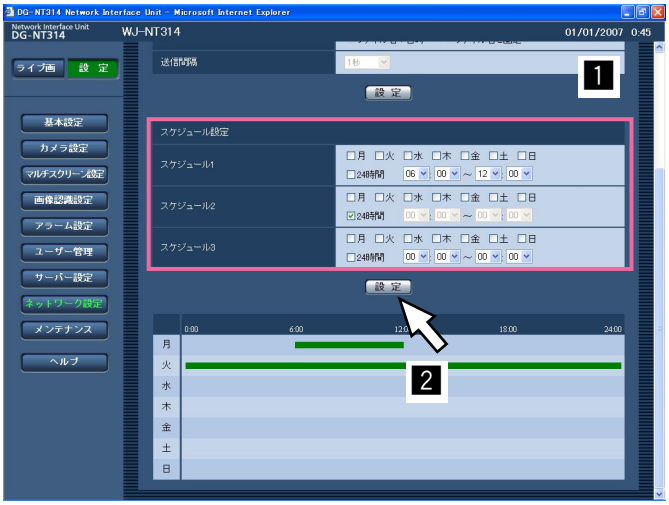
1 「スケジュール設定」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→曜日が有効になります。

2 時間を指定するときは、「時」「分」の横の［⋁］をクリックして、時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24時間」にチェックを入れます。

3 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。

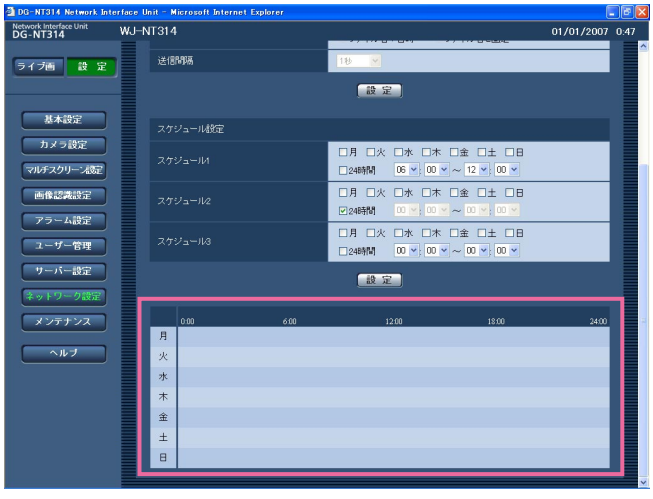


スケジュールの削除のしかた



1 削除するスケジュールの曜日ボックスのチェックをはずします。

2 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。



本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］

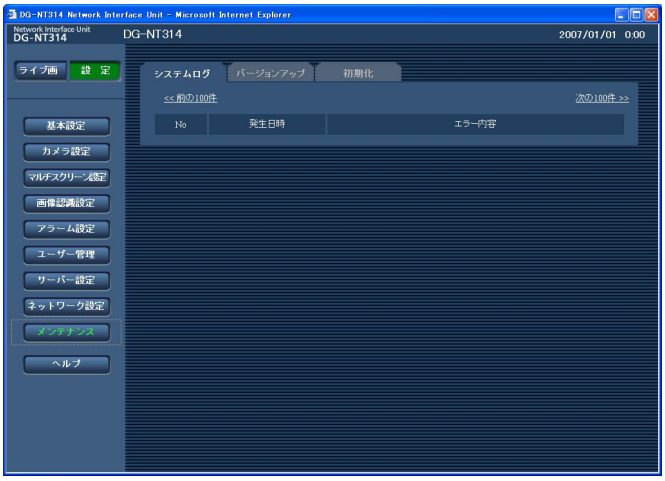
メンテナンスページでは、システムログの確認やファームウェアのバージョンアップ、本機の初期化などを行います。
メンテナンスページは、［システムログ］タブ、［バージョンアップ］タブ、［初期化］タブで構成されています。

システムログを確認する［システムログ］

メンテナンスページの［システムログ］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定（☞20ページ）し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に320 Kbyte（約4 000件）までのシステムログを保存できます。
「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに8 Kbyte（約100件）までシステムログを保存できます。
保存できるシステムログの容量を超えた場合は、古いログから上書きされます。
システムログは100件ずつ表示されます。
SDメモリーカードを使用した場合、本機の電源を切ってもログは保存されます。SDメモリーカードを使用しない場合、本機の電源を切るとログは消去されます。

✎メモ✎

- システムログは一定時間（5分間）ごとに80 Kbyteずつまとめて上書きされます。そのため、一定時間内に連続的にログが発生することを考慮し、SDメモリーカードは残容量が約5 Mbyte以上ある状態で使用することをおすすめします。
- SDメモリーカードを使用している場合、SDメモリーカードの空き容量がなくなった時点でシステムログが保存されなくなります。その場合は、SDメモリーカードをフォーマット（☞21ページ）するか、SDメモリーカードに空き容量を作成してください。SDメモリーカードに空き容量を作成した場合は、［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定したあと、再度、「使用する」に設定し直してください。（☞20ページ）
  SDメモリーカードの空き容量がなくなったことを通知する場合は、独自アラーム通知設定を行ってください。（☞42ページ）



［発生日時］
ログの発生日時が表示されます。

［エラー内容］
システムログの内容が表示されます。
各システムログの内容について詳しくは、59ページをお読みください。

ファームウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］

メンテナンスページの［バージョンアップ］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：16ページ)
ここでは、本機のファームウェアのバージョンを確認し、ファームウェアを最新のバージョンに更新できます。
バージョンアップ用ファームウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

[代表品番]、[MACアドレス]、[シリアル番号]、[ファームウェアバージョン]、[IPLバージョン]
本機の各情報が表示されます。

ファームウェアのバージョンアップのしかた

1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のファームウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

!!重要!!
- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

2 ［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたファームウェアを指定します。

3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

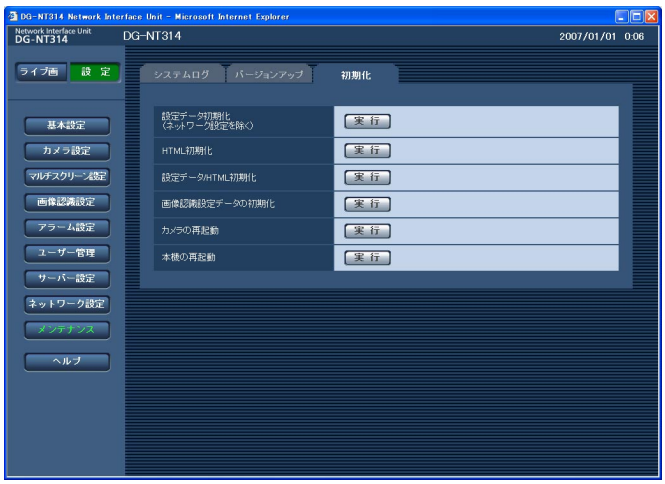
メモ
- 初期化を行う／行わないの判断は、ファームウェアに付属のreadmeをお読みのうえ、判断してください。

4 ［実行］ボタンをクリックします。
→バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。バージョンアップ後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されません。
バージョンアップを行った後は必ずインターネット一時ファイルを削除してください。
(☞71ページ)

!!重要!!
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ファームウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するファームウェアは、当社指定の「nt314_xxxxx.img」ファイルを使用してください。
  ※「xxxxx」にはファームウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中はウィンドウサイズの変更も含め、ウェブブラウザー画面で何も操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
  DHCPのON／OFF、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、DNSのAUTO／MANUAL、DNSサーバーのプライマリー・セカンダリーサーバーアドレス、通信速度、時刻設定
- 設定画面などが更新されている場合がありますので、バージョンアップ完了後はHTMLの初期化を行うことをおすすめします。(☞58ページ)
  ※HTMLを編集してお使いの場合、初期化を行うと元のHTML画面に戻りますので、お買い上げの販売店にご確認のうえ、実行してください。

本機を初期化・再起動する［初期化］

メンテナンスページの［初期化］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：16ページ）
ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、カメラの再起動、本機の再起動を行います。



［設定データ初期化（ネットワーク設定を除く）］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。ただし、ネットワークの設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

［HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルをお買い上げ時の設定に戻します。初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

［設定データ／HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルをお買い上げ時の設定に戻します。ただし、ネットワークの設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

［画像認識設定データの初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、画像認識設定データの内容をお買い上げ時の設定に戻します。初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

［カメラの再起動］
本機に接続されたすべてのカメラを再起動します。
再起動を行うと、約1分間、カメラを操作できません。

［本機の再起動］
本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に初期化動作を行うため、約3分間操作できません。

✎メモ✎

- すべての設定内容を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機前面のディップスイッチ1番をONにし、本機の電源を入れてください。
  約90秒後に本機が起動して、ネットワーク設定データ（☞49ページ）を含む全設定が初期化されます。
  ネットワーク設定のみ（HTTPポート番号設定を除く）を初期化したい場合は、本機前面のディップスイッチ2番をONにしてください。
  初期化が完了したら、必ずディップスイッチをOFFの状態に戻して、再度、電源を入れ直してください。ディップスイッチについては、「取扱説明書　基本編」をお読みください。
- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、ロックされているなどのエラーが起こると、設定した独自アラーム通知先に通知することができます。
  （☞42ページ）

システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	MAIL FROMコマンドエラー	送信者メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	RCPT TOコマンドエラー	送信先メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	FTPサーバー見つからず	・FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 ・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
接続エラー	転送エラー	・FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 ・各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	FTP機能で問題が発生しています。 FTP設定を再確認してください。

DDNSに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・DNSサーバーおよびDDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起こりました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 ・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	時刻修正が成功しました。

HTTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	DNSからHTTPサーバーアドレス解決できず	・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	サーバー応答なし	サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
	ユーザー名パスワードエラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。XML通知設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	HTTPにおけるXML通知機能で問題が発生しています。XML通知設定を再確認してください。

XMLに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	送信エラー	XML通知に関する設定が間違っている可能性があります。XML通知設定を再確認してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	**取扱説明書 基本編**
	●後面のネットワーク端子にカテゴリー5のケーブルが接続されていますか？	**取扱説明書 基本編**
	●本機前面およびネットワーク端子横のリンクLEDは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	**取扱説明書 基本編**
	●本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	**49**
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで ＞　ping　「本機に設定したIPアドレス」 で、DG-NT314からReplyが返ってくれば、本機は正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 ・本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。 ・本機前面にあるディップスイッチ2番をONにし、本機を再起動してネットワーク設定の初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。 その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する。	**取扱説明書 基本編** **58**

（次ページへ続く）

故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？	49
ウェブブラウザー画面に表示されるボタンがずれて表示される	●Windowsのフォント設定を初期設定から変更している場合に、ウェブブラウザーの表示が異常になることがあります。 フォント設定は初期設定のままご使用ください。	–
ウェブブラウザー画面に表示される内容がすべて表示されない	●F5キーを押すことで再表示を行います。	–
認証ウィンドウを終了できない	●正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ ユーザー名、パスワードを確認してください。	44、45
ウェブブラウザーの接続が切断される ネットワークのパフォーマンスが出ない	●ネットワーク回線および本機のネットワーク性能限界以上の設定がされている可能性があります。 画像更新速度の値を小さくするなど、配信量に関係する設定値を小さくしてください。	23

（次ページへ続く）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーの接続が切断される ネットワークのパフォーマンスが出ない	●本機とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。HUBの通信速度状態および本機のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。	–
画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	**取扱説明書 基本編**
	●DirectX®のバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectX®のバージョンを確認してください。 （1）PCのスタートメニューから［ファイルを指定して実行］を選択する。 （2）「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectX®を入手してください。	–
画像が表示用の枠と一致していない	●画像のDPI設定が120 DPIに設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックしてDPI設定を変更してください。	–
画像の焦点が合わない	●ドーム部が汚れていませんか？ ドーム部の汚れを落としてください。	**カメラの取扱説明書**
	●オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか？ 手動操作でピントを合わせてください。	**7**

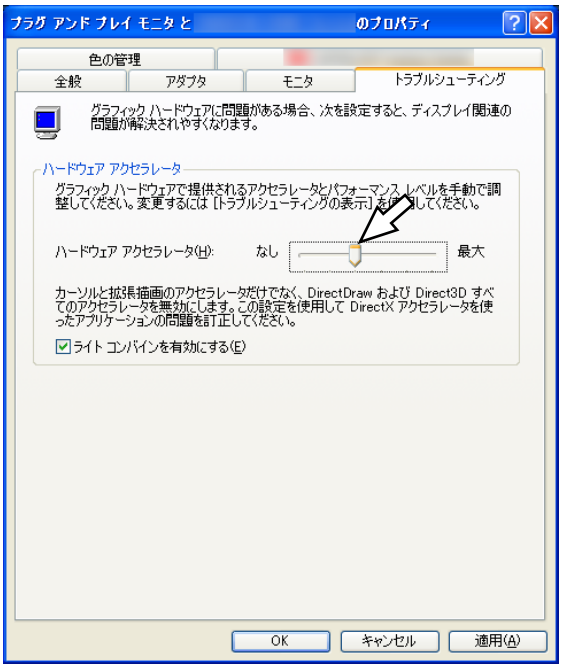
故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
画像がぼやける	●カメラのレンズやドーム部にごみやほこりが付着していませんか？ カメラのレンズやドーム部にごみやほこりが付着していないか確認してください。	–
	●フォーカスは正しく調節されていますか？ ［フォーカス］ボタンを押して調節してください。	7
	●本機使用中にフォーカスがずれた場合は、カメラの再起動を行うと位置が補正されます。	58
画像が更新されない	●ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。ウェブブラウザーの［更新］ボタンをクリックして、画像の取得要求を行ってください。	–
プリセットポジションがずれる	●本機使用中に設定したポジション位置からカメラの向きがずれた場合、カメラの再起動を実行すると位置が補正されます。	58
	●カメラの部品が消耗していませんか？ 駆動部品の消耗が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。	カメラの取扱説明書
画像が出ない（暗い）	●「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？ ［明るさ］ボタンの「標準」をクリックしてください。	7
画像が白っぽい	●「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？ ［明るさ］ボタンの「標準」をクリックしてください。	7
画像がちらつく	●ちらつきが気になる場合は、「シャッター速度」を「AUTO」または「1/100」に設定してください。	27、カメラの取扱説明書
	●「スーパーダイナミックⅢ」が「ON」に設定されていませんか？ 「OFF」に設定してください。	27、カメラの取扱説明書

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
SDメモリーカードに画像が保存されない（独自アラーム通知のメッセージで「SD-MEMORY NOT DETECTED」が通知された）	●SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられているか、確認してください。	**取扱説明書 基本編**
	●SDメモリーカードはフォーマットされていますか？ SDメモリーカードに画像を書き込んでいる際に、停電などにより電源が落ちてしまった場合は、SDメモリーカードに書き込みできなくなる場合があります。その場合は、SDメモリーカードに保存されている画像を取得してからフォーマットしてください。	21
	●SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、［SDメモリーカード］タブの「SDメモリーカード」に「**********KB/**********KB」と表示されます。	–
	●SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。	–
カメラが操作できない	●カメラは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。	**取扱説明書 基本編**
	●操作できるカメラが接続されていますか？ 操作できる機能はカメラによって異なります。 各機能については、カメラの取扱説明書をお読みください。	**カメラの 取扱説明書**
カメラの動作モード（OFF、オートパン、ソート、シーケンス、パトロール）が変化する	●カメラのセルフリターン機能を確認してください。	**27、 カメラの 取扱説明書**

故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
音声の受話／送話ができない	●マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●PCやスピーカーの音量が小さくなっていたりミュートになっていたりしませんか？ PCやスピーカーの音量を大きくしてください。	−
	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●音声モードは正しく設定されていますか？ 受話／送話をどちらも行う場合は、［音声］タブで「音声モード」を「双方向」に設定してください。	28
	●アクセスしているユーザーおよびホストは、音声を受話／送話できるアクセスレベルですか？ ［音声］タブの「音声許可レベル」で許可されているアクセスレベルのユーザーおよびホストでアクセスしてください。	29
ライブ画ページで［受話］ボタン、［送話］ボタンがリアルタイムに表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●お使いのPC環境は本機の「必要なPCの環境」と合っていますか？ PCの環境を確認してください。	取扱説明書 基本編
	●リアルタイムに表示するよう設定されていますか？ ［基本］タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定してください。	19

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
複数のウェブブラウザーを起動してMPEG-4画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版を例に説明します。 （1）デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 （2）画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。 （3）［トラブルシューティング］タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。 	–

故障かな!?（つづき）

お使いのPCのOS環境によっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。
現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

症　状	対応方法	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	−
下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.'からの'nwcv3setup.exeインストールするには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	−

症　状	対応方法	参照ページ
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	●Internet Explorer®で［ツール］－［インターネットオプション］－［セキュリティ］を選択し、セキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	－
画像がうまく更新されない、表示されない	●以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 （1）Internet Explorer®で［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 （2）「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。	－
	●ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能により本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	－

用語集

＜アルファベット・数字＞

ActiveX（コントロール）
Microsoft社が開発したソフトウェアの部品化技術です。インターネットやイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorer®に機能を追加する形で使用されます。本ネットワークカメラでは、動画を表示するために使用しています。

AVMD機能
設定したエリア内で物体の移動や置き去り／持ち去りを検知し、アラームを発生させる機能です。

AVMD情報
AVMD機能によって検出された侵入者の位置情報や軌跡情報などのことです。画像に乗せたり、XML形式で通知することによって、枠や軌跡を画面に表示させたり、侵入者を検索したりすることができるようになります。

DDNS（Dynamic DNS）
DNSサーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）
PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DNS（Domain Name System）
ネットワーク環境上で使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信を行います。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

fps（Frame Per Second）
1秒間に表示できる画像の枚数を示します。動画のなめらかさを表します。

FTP（File Transfer Protocol）
ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

IPアドレス（Internet Protocol Address）
インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたPCや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

IPマスカレード（Network Address Port Translation, IP masquerade）
1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。NATと異なりTCP/UDPのポート番号まで動的に変換されるため、1つのグローバルアドレスで複数のPCから同時に接続できます。

Iフレーム
MPEG-4画像の配信において、動き予測して生成するフレーム（Pフレーム）の基準となるフレームのことです。

LAN（Local Area Network）
同じ建物の中やフロアー内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MACアドレス（Media Access Control address）
ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

JPEG（Joint Photographic Experts Group）
静止画データの圧縮方式の１つです。
連続的にJPEG 画像を送信する動画方式は、Motion JPEGと表現される場合があります。

MPEG-4 (Moving Picture Experts Group phase 4)
動画データの圧縮方式の1つです。

NAT（Network Address Translation）
1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。

NTP（Network Time Protocol）
ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

POP(3)（Post Office Protocol Version 3）
インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

QVGA
320×240ピクセルの解像度のことです。

SDメモリーカード（Secure Digital memory card）
小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りをしたり、クライアントがサーバーにメールを送信するときに使われます。

SMTPサーバー（SMTP　server）
現在もっとも普及しているメール送信プロトコルであるSMTPに対応しているサーバーです。

SMTP認証
（Simple Mail Transfer Protocol Authentication）
メール送信に使うプロトコルであるSMTPにユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTPサーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードの認証を行います。このため、SMTPサーバーとクライアントの双方がSMTP認証対応していなければなりません。

SNMP（Simple Network Management Protocol）
ルーターやPC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）
インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

TTL
パケットの有効期間を表す値です。パケットがルーターなどを通過するたびに、TTL値が1ずつ減少します。TTL値が0になった時点で、パケットは廃棄されます。

URL（Uniform Resource Locator）
インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

VGA（Video Graphics Array）
640×480ピクセルの解像度のことです。

VPN（Virtual Private Network）
公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

WAN（Wide Area Network）
電話回線や専用線を使って、本社－支社間など地理的に離れた地点にあるPC同士を接続し、データをやり取りすることをいいます。

＜あ＞

インターネット（internet）
全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパソコンネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

ウェブブラウザー（web browser）
Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft社のInternet Explorer®などがあります。

＜か＞

（デフォルト）ゲートウェイ（gateway）
組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

グローバル（IP）アドレス（global address）
インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークでで自由に割り振ることができるプライベート（IP）アドレスがあります。

ケーブルモデム
インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、PCとはイーサネットを通じて接続します。

＜さ＞

サブネット（subnet）
大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

用語集（つづき）

サブネットマスク（subnet mask）
サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する32ビットの数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

セカンダリー（DNS）サーバー（secondary DNS server）
DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの副系統（サブ）のサーバーです。主系統（プライマリ）のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

全二重（full duplex）
双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

＜た＞

タイムゾーン
共通で（地方）標準時を使うある国や地域全体をタイムゾーンといいます。

独自アラーム
弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）に対して、発生したアラーム情報をTCPで通知するための機能です。

＜は＞

半二重（half duplex）
双方向通信で、1つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

ビットレート（bit rate）
単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps：bits per second)が使われます。映像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

ファイアウォール（firewall）
インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの１つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムやそのようなシステムが組みこまれたPCです。

プライベート（IP）アドレス（private address）
主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベート（IP）アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート（IP）アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル（IP）アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プライマリー（DNS）サーバー（primary DNS server）
DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの主系統（メイン）のサーバーです。

プラグインソフトウエア
アプリケーションソフトウエアに機能を追加するためのプログラムです。

フレームレート（frame rate）
1秒間に何回画面を書き替えることができるかを表す指標です。

ブロードバンドルーター（broadband router）
ADSLや光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

プロキシサーバー（proxy server）
組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理（プロキシ）」として、インターネットとの接続を行うPCやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。

プロトコル（protocol）
さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約（約束事）の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

ポート番号（port number）
インターネット上の通信（TCP、UDPなど）で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレスです。

＜ま＞

マルチキャスト
ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信することです。

＜や＞

ユニキャスト

ネットワーク内で、1つのIPアドレスを指定して特定の相手にデータを送信することです。

＜ら＞

ルーター（router）

異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル　パナハ　ヨイワ
0120-878-410　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DG-NT314
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

© Panasonic Corporation 2008

3TR005579BAB
N0608-1108